

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
本工事						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削						
掘削	土砂 オープンカット 5,000m3未満	= 537.5		530	m3	
路体盛土工						
路体(築堤)盛土						
路体(築堤)盛土	4.0m以上	= 102.0		100	m3	
路床盛土工						
路床盛土						
路床盛土	; 施工幅員=4.0m以上	= 381.1		380	m3	
作業土工						
床掘り						
床掘り	土砂 標準 土留→無し; 障害→無し	= 327.5		320	m3	
埋戻し						
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	= 64.8		60	m3	
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	= 112.7		110	m3	
基面整正						
基面整正		= 339.3		330	m2	
残土処理工						
土砂等運搬						

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
土砂等運搬；（標準）	土質→土砂（岩塊・玉石混り土含む） ；DID区間→無し	= 88.0		80	m3	
残土等処分						
処分費	土 砂 ；投棄量 8 0m3	= 1.0		1	式	
擁壁工						
擁壁工						
小型擁壁						
擁壁1	SGW16	= 12.9		12	m	
擁壁3	GW1	= 6.8		6	m	
擁壁5	SGW1	= 5.4		5	m	
擁壁6		= 24.5		24	m	
擁壁7		= 1.0		1	箇所	
重力式擁壁						
擁壁2	GW15	= 10.9		10	m	
擁壁4	SGW46	= 21.8		21	m	
排水構造物工						
側溝工						
縁石一体型側溝						
水路ブロック設置	縁石一体型側溝用	= 197.3		197	m	
自由勾配側溝						
自由勾配側溝	B:300×H: 300	= 120.9		120	m	
自由勾配側溝	B:300×H: 400	= 36.1		36	m	
自由勾配側溝	B:300×H: 500	= 14.0		14	m	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 名 称	規 格	算	式	数 量	単 位	摘 要
自由勾配側溝	B:300×H: 600					
			= 8.5	8	m	
自由勾配側溝	B:300×H: 800					
			= 1.3	1	m	
プレキャストU型水路						
プレキャストU型水路 [U形側溝(トフ)]						
			= 9.0	9	m	
現場打水路						
現場打U型側溝	NU234					
			= 12.3	12	m	
取合Co						
取合Co						
			= 1.1	1	m	
水路嵩上						
水路嵩上1	L=3. 3m					
			= 1.0	1	箇所	
水路嵩上2	L=4. 6m					
			= 1.0	1	箇所	
側溝蓋						
コンクリート蓋	自由勾配側溝W300用 L500					
			= 127.0	127	枚	
グレーチング蓋	自由勾配側溝W300用 L500					
			= 45.0	45	枚	
現場打水路グレーチング蓋	R5G230B					
			= 2.0	2	枚	
グレーチング蓋撤去・再設置						
			= 20.0	20	枚	
管渠工						
鉄筋コンクリート台付管						
鉄筋コンクリート台付管工	BZ- 300					
			= 31.3	31	m	
塩ビ管						
塩化ビニル薄肉管(VU管)据付	VU150 砂基礎含む					
			= 11.7	11	m	
塩化ビニル薄肉管(VU管)据付	VU200 砂基礎含む					
			= 5.1	5	m	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
塩化ビニル薄肉管(VU管)据付	VU300 砂基礎含む	= 4.5		4	m	
塩化ビニル管(VP管)据付	VP150 砂基礎含む	= 13.1		13	m	
塩化ビニル管(VP管)据付	VP200 砂基礎、ゴム製可とうマンホール継手含む	= 1.0		1	箇所	
集水樹・マンホール工						
現場打ち集水樹						
現場打ち集水樹(500*500*1000)	500×500用ケレーチング 細目 T-25 ホルト固定	= 1.0		1	箇所	
集水樹嵩上	1000×1000用ケレーチング 重量軽減型 観音開き 細目 T-25 取手付	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹						
縁石一体型側溝管理樹	縁石一体型側溝用	= 13.0		13	箇所	
縁石一体型側溝車道樹1	縁石一体型側溝用	= 3.0		3	箇所	
縁石一体型側溝車道樹2	縁石一体型側溝用	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	300*300*500 細目ケレーチング	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	300*300*800 細目ケレーチング	= 2.0		2	箇所	
プレキャスト集水樹	300*300*900 細目ケレーチング	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	300*300*1200 細目ケレーチング	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	400*400*600 細目ケレーチング	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	400*400*800 細目ケレーチング	= 2.0		2	箇所	
プレキャスト集水樹	300*600*600 細目ケレーチング	= 1.0		1	箇所	
プレキャスト集水樹	300*600*800 細目ケレーチング	= 2.0		2	箇所	
防護工						
防護工						
防護工		= 5.0		5	箇所	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
補強コンクリート						
補強コンクリート1		= 1.0		1	箇所	
補強コンクリート2		= 1.0		1	箇所	
雑工						
現場打舗装止						
現場打舗装止		= 10.2		10	m	
張りコンクリート	t=100mm	= 110.2		110	m2	
管理孔高さ調整		= 4.0		4	箇所	
縁石工						
縁石工						
歩車道境界ブロック						
歩車道境界ブロック(FA-1型)	標準部 A型	= 100.2		100	m	
歩車道境界ブロック(FM-1型)	水抜部 A型	= 25.2		25	m	
歩車道境界ブロック(FKS-1型)	切下擦付部 A型	= 6.0		6	m	
歩車道境界ブロック(FN型)	乗入部 N型	= 64.0		64	m	
歩車道境界ブロック(FNS-1型)	乗入擦付部 A型	= 12.0		12	m	
縁石一体型側溝						
縁石一体型側溝(FA-2型)	標準部 A型	= 10.4		10	m	
縁石一体型側溝(FKS-2型)	切下擦付部 A型	= 4.0		4	m	
縁石一体型側溝(FK-1型)	歩道切下部 R2.5	= 20.7		20	m	
縁石一体型側溝(FK-1型)	歩道切下部 R4.5	= 3.5		3	m	
縁石一体型側溝(FK-1型)	歩道切下部 R6.0	= 9.0		9	m	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
緑石一体型側溝(FK-1型)	歩道切下部 R12.0		= 12.8	12	m	
駒止ﾌﾞﾛｯｸ						
駒止ﾌﾞﾛｯｸ(FA-3型)	標準部 A型		= 19.9	19	m	
駒止ﾌﾞﾛｯｸ(FK-2型)	切下部		= 19.7	19	m	
駒止ﾌﾞﾛｯｸ(FKS-3型)	切下斜用 A型		= 1.8	1	m	
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ						
地先境界ブロック設置	A型 12cm×12cm 基礎砕石:有り(再生砕石 RC-40) 基礎ｺﾝ:無		= 16.7	16	m	
現場打街渠						
現場打街渠	NGF515A		= 4.0	4	m	
現場打街渠	NG515N		= 4.2	4	m	
現場打街渠	NGF515SA		= 1.0	1	m	
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し						
構造物とりこわし工:〔機械 施工〕	無筋構造物		= 9.9	9	m3	
構造物とりこわし工:〔機械 施工〕	鉄筋構造物		= 6.6	6	m3	
舗装版切断						
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	5.8+78.2+48.4	= 132.4	130	m	
舗装版切断(コンクリート舗装版)	Co舗装版厚->15cm以下		= 33.8	33	m	
舗装版破碎						
舗装版破碎(アスファルト舗装版)	:障害->無し:撤去厚->15cm以下	56.7+307.6+527.7+1033.5	= 1925.5	1,920	m2	
舗装版破碎(コンクリート舗装版)	:障害->無し:撤去厚->15cm以下		= 101.9	100	m2	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 別 ・ 名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
運搬処理工						
殻運搬						
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とリコわし ; D I D区間無し L=1.6km以下	=	9.9	9	m3	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とリコわし ; D I D区間無し L=1.6km以下	=	6.6	6	m3	
殻運搬	舗装版破碎 ; D I D区間無し L=3.5km以下	10.2+143.7	= 153.9	153	m3	
運搬費	; 運搬距離 4 6 . 4 km	=	1.0	1	台	
殻処分						
処分費	コンクリート殻(無筋) ; 投棄量 2 0 m3	=	1.0	1	式	
処分費	コンクリート殻(鉄筋) ; 投棄量 6 m3	=	1.0	1	式	
処分費	アスファルト殻 ; 投棄量 1 4 3 m3	=	1.0	1	式	
処分費	舗装版切断汚水 ; 投棄量 0 . 3 9 t	=	1.0	1	式	
排水構造物撤去工						
蓋版撤去						
ケーシング撤去(再利用)	40kg以下	=	3.0	3	枚	
ケーシング撤去(再利用)	40～170kg以下	=	1.0	1	枚	
道路付属施設撤去工						
車線分離標撤去						
着脱式車線分離標撤去工	穿孔式	=	4.0	4	箇所	
舗装						
舗装工						
舗装準備工						
不陸整正						

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
不陸整正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)					
	粒調砕石 M-25, M-30, M-40	= 126.7		126	m2	
不陸整正	補足材料->無し					
		= 1329.2		1,320	m2	
アスファルト舗装工(車道舗装)						
下層路盤(車道・路肩部)						
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚->400mm 2層施工					
	再生クラッシャーラン RC-30, RC-40	= 466.6		466	m2	
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部)	粒調砕石 M-25, M-30, M-40					
	t = 100mm	466.6+188.1 = 654.7		654	m2	
基層(車道・路肩部)						
基層(車道・路肩部)	t = 50mm					
	粗粒度アスコン[再] (20) ; (2.35)	= 466.6		466	m2	
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部)	t = 50mm					
	密粒度アスコン[下水スリ] 入再生材] (13) ; (2.35)	= 466.6		466	m2	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm					
	密粒度アスコン[下水スリ] 入再生材] (13) ; (2.35)	= 188.1		188	m2	
表層(車道・路肩部)	t = 40mm					
	密粒度アスコン[下水スリ] 入再生材] (13) ; (2.35)	= 126.7		126	m2	
透水性舗装工(歩道舗装)						
フィルター層						
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満					
	洗砂	471.2+178.2 = 649.4		649	m2	
上層路盤(歩道部)						
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 100 1層施工					
	再生クラッシャーラン RC-30, RC-40	= 471.2		471	m2	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 150 1層施工					
	再生クラッシャーラン RC-30, RC-40	178.2+25.1 = 203.3		203	m2	
基層						
基層(歩道部)	t = 70mm					
	粗粒度アスコン[再] (20) ; (2.20)	= 25.1		25	m2	
表層						

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
透水性アスファルト舗装	t = 3 0mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As (13) ; (2. 05)	= 471. 2		471	m2	
透水性アスファルト舗装	t = 5 0mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As (13) ; (2. 05)	= 178. 2		178	m2	
表層(歩道部)	t = 3 0mm 細粒度アスコン[再] (13) ; (2. 15)	= 25. 1		25	m2	
防護柵工						
路側防護柵工						
ガードパイプ						
ガードパイプ設置工 [コンクリート建込]	景観塗装品 Gp-C-2B 路側用	= 2. 7		2	m	
防止柵工						
転落(横断)防止柵						
横断・転落防止柵設置工 [コンクリート建込]	転落防止柵 (景観塗装) ; KPT-1106W 同等品以上	= 23. 6		23	m	
立入防止柵						
立入防止柵設置	H=900	= 34. 3		34	m	
標識工						
小型標識工						
標識柱						
標識基礎設置	セミフラット部 H-1型	= 1. 0		1	基	
標識基礎設置	路肩部 H-3型	= 1. 0		1	基	
標識柱・基礎設置	セミフラット部 H-1型	= 2. 0		2	基	
標識柱・基礎設置	マウントアップ部 H-2型	= 1. 0		1	基	
標識柱・基礎設置	路肩部 H-3型	= 4. 0		4	基	
標識板						
警戒標識板設置	201～215系 1. 3倍	= 7. 0		7	基	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
標識板撤去〔路線番号・警戒・規制標識〕			= 1.0	1	基	
区画線工						
区画線工						
溶融式区画線						
区画線設置〔溶融式〕	実線 15cm t=1.5mm		= 389.8	380	m	
区画線設置〔溶融式〕	実線 15cm t=1.5mm		= 51.8	51	m	
区画線設置〔溶融式〕	破線 15cm t=1.5mm		= 88.5	88	m	
道路付属施設工						
道路付属物工						
線形誘導標						
線形誘導標			= 2.0	2	枚	
車止めポスト						
車止めポスト			= 16.0	16	基	
車線分離標						
着脱式車線分離標設置工	穿孔式 φ80×H800 へーろφ250		= 3.0	3	基	
縁石鋳						
道路鋳設置工	小型鋳(両面反射 貼付式) 設置幅10cm		= 38.0	38	個	
誘導用タイル						
誘導タイル設置			= 80.4	80	m	
道路反射鏡工						
道路反射鏡						
道路反射鏡	メタクリル板 2面鏡φ800		= 1.0	1	基	

数量総括表

[illegible]

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事		事業区分	道路改良	
			工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 規 格 式	数 量	単 位	摘 要
附帯工事費(1)					
道路改良					
道路土工					
路体盛土工					
路体(築堤)盛土					
路体(築堤)盛土	2.5m以上4.0m未満	= 64.4	60	m3	
作業土工					
床掘り					
床掘り	土砂 標準 土留→無し；障害→無し	= 22.0	20	m3	
埋戻し					
埋戻し	最大埋戻幅1m未満	= 5.8	5	m3	
基面整正					
基面整正		= 42.7	40	m2	
擁壁工					
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ擁壁工					
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ擁壁					
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	1100×2000	= 10.0	10	m	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	1200×2000	= 6.0	6	m	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	1400×2000	= 6.0	6	m	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	1700×2000	= 6.0	6	m	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	1900×2000	= 4.0	4	m	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆ｼ擁壁	2000×2000	= 2.0	2	m	

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 規 格 式		数 量	単 位	摘 要
7°レキャスト逆L擁壁	2200×2000				m	
		=	2.0	2		
雑工						
スクリーン設置						
スクリーン設置						
スクリーン設置					箇所	
		=	1.0	1		
舗装						
舗装工						
舗装準備工						
不陸整正						
不陸整正	補足材料→有り(29mm以上34mm未満) 粒調砕石 M-25, M-30, M-40				m2	
		=	302.9	302		
不陸整正	補足材料→有り(67mm以上75mm未満) 粒調砕石 M-25, M-30, M-40				m2	
		=	219.5	219		
不陸整正	補足材料→無し				m2	
		=	787.6	787		
アスファルト舗装工(車道舗装)						
下層路盤(車道・路肩部)						
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚→400mm 2層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40				m2	
		=	129.6	129		
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚→200mm 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40				m2	
		=	478.9	478		
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚→120mm 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40				m2	
		=	185.7	185		
上層路盤(車道・路肩部)						
上層路盤(車道・路肩部)	粒調砕石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	129.6+60.2			m2	
		=	189.8	189		
上層路盤(車道・路肩部)	瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 100mm	478.9+185.7			m2	
		=	664.6	664		
基層(車道・路肩部)						
基層(車道・路肩部)	t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20) ; (2.35)				m2	
		302.9+129.6	=	432.5		

数 量 総 括 表

工 事 名	令和07年度 市道山田下広瀬線道路改良工事			事業区分	道路改良	
				工種区分	道路新設・改築	
工 種・種 別・細 別・名 称	規 格	算 式		数 量	単 位	摘 要
基層(車道・路肩部)	t = 5 0mm 粗粒度7スコン[再] (20) ; (2.35)	478.9+185.7	= 664.6	664	m2	
表層(車道・路肩部)						
表層(車道・路肩部)	t = 5 0mm 密粒度7スコン[下水39g 入再生材] (13) ; (2.35)	302.9+129.6+478.9+185.7	= 1097.1	1,090	m2	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm 密粒度7スコン[下水39g 入再生材] (13) ; (2.35)		= 60.2	60	m2	
表層(車道・路肩部)	t = 4 0mm 密粒度7スコン[下水39g 入再生材] (13) ; (2.35)		= 219.5	219	m2	
透水性舗装工(歩道舗装)						
フィルター層						
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満 洗砂	106.6+12.3	= 118.9	118	m2	
上層路盤(歩道部)						
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 0 0 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40		= 106.6	106	m2	
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚 t = 1 5 0 1層施工 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40		= 12.3	12	m2	
基層(歩道部)						
表層						
透水性アスファルト舗装	t = 3 0mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As (13) ; (2.05)		= 106.6	106	m2	
透水性アスファルト舗装	t = 5 0mm 一般・4t以下乗入部->開粒度As (13) ; (2.05)		= 12.3	12	m2	
区画線工						
区画線工						
溶融式区画線						
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm		= 677.6	670	m	
区画線設置 [溶融式]	破線 15cm t=1.5mm		= 45.0	45	m	
区画線設置 [溶融式]	実線 20cm t=1.5mm		= 20.2	20	m	
区画線設置 [溶融式]	ゼブラ 45cm t=1.5mm		= 46.4	46	m	

数量総括表

[illegible]

道路改良 土工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
本工事費（道路改良）						
道路土工						
掘削		土砂(機械)	537.5	537.5	m3	数量計算書
路床盛土	流用土	4.0≦W	381.1	381.1	m3	数量計算書
路体盛土	流用土	4.0≦W	102.0	102.0	m3	数量計算書
作業土工						
床掘り	床掘	土砂(機械)	115.1+87.6+92.7+32.1	327.5	m3	作業土工集計・構造物工・安全施設工
埋戻し	流用土	1.0≦W<4.0	53.2+11.6	64.8	m3	構造物工・安全施設工
埋戻し	流用土	W<1.0	47.5+38.9+12.4+13.9	112.7	m3	作業土工集計・構造物工・安全施設工
基面整正	基面整正	土砂	286.5+42.2+10.6	339.3	m2	構造物工・縁石工・安全施設工
残土処理工						
残土計算	残土計算	礫質土	537.5+327.5-(381.1+102.0+64.8+112.7)/0.9	131.0	m3	
残土処分	残土処分	礫質土	131.0-43.0	88.0	m3	附帯土工集計表 一部附帯工へ流用

道路土工数量計算書													
測 点	工種 距離	掘削			摘 要	路床盛土			摘 要	路体盛土			摘 要
		土砂				4.0≦W				4.0≦W			
	断面積	平 均	立 積	断面積		平 均	立 積	断面積		平 均	立 積		
NO.0	m 0.0	m2 -	m2 -	m3 -		m2 -	m2 -	m3 -		m2 -	m2 -	m3 -	
NO.0 +5.7	5.7	7.8	-	-		-	-	-		-	-	-	
NO.0 +10.0	4.3	7.8	7.80	33.5		-	-	-		-	-	-	
NO.1	10.0	8.3	8.05	80.5		0.0	-	-		0.0	-	-	
NO.2	20.0	0.0	4.15	83.0		8.7	4.35	87.0		6.8	3.40	68.0	
NO.2 +10.00	10.0	0.0	0.00	0.0		15.0	11.85	118.5		0.0	3.40	34.0	
NO.3	10.0	0.9	0.45	4.5		5.3	10.15	101.5		-	-	-	
NO.4	20.0	1.2	1.05	21.0		0.4	2.85	57.0		-	-	-	
NO.5	20.0	7.3	4.25	85.0		0.0	0.20	4.0		-	-	-	
NO.6	20.0	5.0	6.15	123.0		-	-	-		-	-	-	
NO.7	20.0	2.1	3.55	71.0		-	-	-		-	-	-	
NO.8	20.0	1.5	1.80	36.0		-	-	-		-	-	-	
北側既設道路 NO.0 +16.00	0.0	-	-	-	A-A断面 使用	1.2	-	-	A-A断面 使用	-	-	-	A-A断面 使用
NO.1 +3.50	7.5	-	-	-	A-A断面 使用	1.2	1.20	9.0	A-A断面 使用	-	-	-	A-A断面 使用
南側既設道路 NO.0 +16.5	0.0	-	-	-	B-B断面 使用	0.5	-	-	B-B断面 使用	-	-	-	B-B断面 使用
NO.1 +4.6	8.1	-	-	-	B-B断面 使用	0.5	0.50	4.1	B-B断面 使用	-	-	-	B-B断面 使用
			-	-			-	-			-	-	
							-	-			-	-	
							-	-			-	-	
合 計	m 175.6			m3 537.5				m3 381.1				m3 102.0	

作業土工数量計算書

測 点	工種 距離	床堀(左)			摘 要	埋戻(左)			摘 要				摘 要
		土砂				W1<1.0							
	断面積	平 均	立 積	断面積		平 均	立 積						
NO.0	m 0.0	m2 -	m2 -	m3 -		m2 -	m2 -	m3 -					
NO.0 +5.7	5.7	0.8	-	-		0.4	-	-					
NO.0 +10.0	4.3	0.8	0.80	3.4		0.4	0.40	1.7					
NO.1	10.0	0.7	0.75	7.5		0.3	0.35	3.5					
NO.2	20.0	1.1	0.90	18.0		0.3	0.30	6.0					
NO.2 +10.00	10.0	0.0	0.55	5.5		0.0	0.15	1.5					
NO.3	10.0	1.0	0.50	5.0		0.4	0.20	2.0					
NO.4	20.0	0.9	0.95	19.0		0.4	0.40	8.0					
NO.5	20.0	0.9	0.90	18.0		0.4	0.40	8.0					
NO.5 +18.0	18.0	0.9	0.90	16.2		0.4	0.40	7.2					
NO.6	2.0	-	-	-		-	-	-					
NO.6 +2.4	2.4	0.5	-	-		0.2	-	-					
NO.7	17.6	0.5	0.50	8.8		0.2	0.20	3.5					
NO.7 +14.4	14.4	0.5	0.50	7.2		0.2	0.20	2.9					
NO.8	5.6	-	-	-		-	-	-					
北側既設道路 NO.0 +16.00	0.0	-	-	-	A-A断面 使用	-	-	-	A-A断面 使用				
NO.1 +3.50	7.5	-	-	-	A-A断面 使用	-	-	-	A-A断面 使用				
南側既設道路 NO.0 +16.5	0.0	0.8	-	-	B-B断面 使用	0.4	-	-	B-B断面 使用				
NO.1 +4.6	8.1	0.8	0.80	6.5	B-B断面 使用	0.4	0.40	3.2	B-B断面 使用				
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
合 計	m 175.6			m3 115.1				m3 47.5					

作業土工数量計算書

測 点	工種 距離	床堀(右)			摘 要	埋戻(右)			摘 要				摘 要
		土砂				W1<1.0							
	断面積	平 均	立 積	断面積		平 均	立 積						
NO.0	0.0	m2 -	m2 -	m3 -		m2 -	m2 -	m3 -					
NO.0 +5.7	5.7	0.1	-	-		0.1	-	-					
NO.0 +10.0	4.3	0.1	0.10	0.4		0.1	0.10	0.4					
NO.1	10.0	0.1	0.10	1.0		0.1	0.10	1.0					
NO.2	20.0	0.0	0.05	1.0		0.0	0.05	1.0					
NO.2 +10.00	10.0	-	-	-		-	-	-					
NO.3	10.0	-	-	-		-	-	-					
NO.3 +11.1	11.1	0.8	-	-		0.3	-	-					
NO.4	8.9	0.8	0.80	7.1		0.3	0.30	2.7					
NO.5	20.0	0.8	0.80	16.0		0.4	0.35	7.0					
NO.6	20.0	1.3	1.05	21.0		0.5	0.45	9.0					
NO.7	20.0	0.7	1.00	20.0		0.3	0.40	8.0					
NO.7 +14.4	14.4	0.7	0.70	10.1		0.3	0.30	4.3					
NO.8	5.6	-	-	-		-	-	-					
北側既設道路 NO.0 +16.00	0.0	0.6	-	-	A-A断面 使用	0.3	-	-	A-A断面 使用				
NO.1 +3.50	7.5	0.6	0.60	4.5	A-A断面 使用	0.3	0.30	2.3	A-A断面 使用				
南側既設道路 NO.0 +16.5	0.0	0.8	-	-	B-B断面 使用	0.4	-	-	B-B断面 使用				
NO.1 +4.6	8.1	0.8	0.80	6.5	B-B断面 使用	0.4	0.40	3.2	B-B断面 使用				
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
			-	-			-	-					
合 計	m 175.6			m3 87.6				m3 38.9					

構造物工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
擁壁工						
擁壁1	擁壁1	SGW16	12.9	12.9	m	計画平面図
擁壁2	擁壁2	GW15	10.9	10.9	m	計画平面図
擁壁3	擁壁3	GW1	6.8	6.8	m	計画平面図
擁壁4	擁壁4	SGW46	21.8	21.8	m	計画平面図
擁壁5	擁壁5	SGW1	5.4	5.4	m	計画平面図
擁壁6	擁壁6		24.5	24.5	m	計画平面図
擁壁7	擁壁7		1.0	1.0	箇所	計画平面図
側溝工						
縁石一体型側溝	水路ブロック	φ150相当	$(26.0+26.4+24.8+8.9+14.1)+(23.3+23.3+14.3+16.9+13.9+5.4)$	197.3	m	計画平面図
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H300	$43.7+53.7+7.5+8.0+8.0$	120.9	m	計画平面図
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H400	$21.6+8.5+2.0+2.0+2.0$	36.1	m	計画平面図
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H500	14.0	14.0	m	計画平面図
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H600	$5.0+1.5+2.0$	8.5	m	計画平面図
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H800	1.3	1.3	m	計画平面図
フレキシブル型水路	フレキシブル型水路	W240×H240	9.0	9.0	m	計画平面図

構造物工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
現場打水路	現場打水路	NU234	1.8+5.0+5.5	12.3	m	計画平面図
取合Co	取合Co		1.1	1.1	m	計画平面図
水路嵩上	水路嵩上1		1.0	1.0	箇所	計画平面図 L=3.3m
	水路嵩上2		1.0	1.0	箇所	計画平面図 L=4.6m
側溝蓋	コンクリート蓋	自由勾配側溝 W300用 L500	58.0+43.0+7.0+9.0+10.0	127.0	枚	計画平面図
	グレーチング蓋	自由勾配側溝 W300用 L500	21.0+15.0+3.0+3.0+3.0	45.0	枚	計画平面図
	現場打水路グレーチング蓋	R5G230B	2.0	2.0	枚	計画平面図
	グレーチング蓋撤去・再設置		4.0+5.0+5.0+6.0	20.0	枚	計画平面図
管渠工						
鉄筋コンクリート台付管	台付管	BZ-300	3.6+(4.1+0.4+4.3+4.1+4.1)+3.5+7.2	31.3	m	計画平面図
塩ビ管	塩ビ管	VUφ150	(0.7+0.6+5.4+2.6)+1.9+0.5	11.7	m	計画平面図
	塩ビ管	VUφ200	1.8+3.3	5.1	m	計画平面図
	塩ビ管	VUφ300	1.9+2.6	4.5	m	計画平面図
	塩ビ管	VPφ150	13.1	13.1	m	計画平面図
	塩ビ管	VPφ200	1.0	1.0	箇所	計画平面図 くら型マンホールの継手により管理孔に接続
集水桝・マンホール工						

構造物工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
現場打集水桝	現場打集水桝	500×500×1000 500×500用T-25細目ボルト固定	1.0	1.0	箇所	計画平面図
集水桝嵩上	集水桝嵩上		1.0	1.0	箇所	計画平面図
プレキャスト集水桝	縁石一体型側溝 管理桝	普通目グレーチング	6.0+7.0	13.0	箇所	計画平面図
	縁石一体型側溝 車道桝1	普通目グレーチング	2.0+1.0	3.0	箇所	計画平面図
	縁石一体型側溝 車道桝2	普通目グレーチング	1.0	1.0	箇所	計画平面図
	プレキャスト集水桝	300×300×500 細目Gr	1.0	1.0	箇所	計画平面図 PC8
	プレキャスト集水桝	300×300×800 細目Gr	2.0	2.0	箇所	計画平面図 PC3、PC5
	プレキャスト集水桝	300×300×900 細目Gr	1.0	1.0	箇所	計画平面図 PC1
	プレキャスト集水桝	300×300×1200 細目Gr	1.0	1.0	箇所	計画平面図 PC9
	プレキャスト集水桝	400×400×600 細目Gr	1.0	1.0	箇所	計画平面図 PC6
	プレキャスト集水桝	400×400×800 細目Gr	2.0	2.0	箇所	計画平面図 PC4、PC7
	プレキャスト集水桝	300×600×600 細目Gr	1.0	1.0	箇所	計画平面図 PC10
	プレキャスト集水桝	300×600×800 細目Gr	2.0	2.0	箇所	計画平面図 PC2、PC11
防護工						
防護工	防護工		5.0	5.0	箇所	計画平面図
補強コンクリート	補強コンクリート1		1.0	1.0	箇所	計画平面図

構造物工集計表

[illegible]

構造物工 作業土工集計表

種別・細別	名 称	規 格	数 量						摘 要	
			掘削 (m3)	盛土 (m3)		床堀 (m3)	埋戻 (m3)			基面整正 (m2)
				W<2.5	2.5≦W< 4.0		W<1.0	1.0≦W< 4.0		
擁壁工										
擁壁1	擁壁1	SGW16				18.3		12.5	11.0	
擁壁2	擁壁2	GW15							17.4	
擁壁3	擁壁3	GW1				4.1	2.0		5.4	
擁壁4	擁壁4	SGW46							17.4	
擁壁5	擁壁5	SGW1				1.9	1.2		2.7	
擁壁6	擁壁6								15.2	
側溝工										
縁石一体型側溝	水路ブロック	φ 150相当							69.1	
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H300							72.5	
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H400							21.7	
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H500							8.4	
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H600							5.1	
自由勾配側溝	自由勾配側溝	W300×H800							0.8	
フレキストU型水路	フレキストU型水路	W240×H240							2.9	
現場打水路	現場打水路	NU234				9.8	3.7		8.6	
取合Co	取合Co								0.6	
管渠工										
鉄筋コンクリート台付管	台付管	BZ-300				47.0		40.7	13.8	
塩ビ管	塩ビ管	VU φ 150				3.5	1.2			
	塩ビ管	VU φ 200				1.0	0.5			
	塩ビ管	VU φ 300				1.8	0.5			

構造物工 作業土工集計表

種別・細別	名 称	規 格	数 量						摘 要	
			掘削 (m3)	盛土 (m3)		床堀 (m3)	埋戻 (m3)			基面整正 (m2)
				W<2.5	2.5≦W< 4.0		W<1.0	1.0≦W< 4.0		
	塩ビ管	VP φ 150				3.9	2.6			
	塩ビ管	VP φ 200				1.4	0.7			
集水桝・マンホール工										
現場打集水桝	現場打集水桝	500×500×1000							0.8	
プレキャスト集水桝	緑石一体型側溝 管理桝	普通目クレーチング							4.9	
	緑石一体型側溝 車道桝1	普通目クレーチング							1.2	
	緑石一体型側溝 車道桝2	普通目クレーチング							0.4	
	プレキャスト集水桝	300×300×500 細目Gr							0.4	
	プレキャスト集水桝	300×300×800 細目Gr							0.7	
	プレキャスト集水桝	300×300×900 細目Gr							0.4	
	プレキャスト集水桝	300×300×1200 細目Gr							0.4	
	プレキャスト集水桝	400×400×600 細目Gr							0.5	
	プレキャスト集水桝	400×400×800 細目Gr							1.0	
	プレキャスト集水桝	300×600×600 細目Gr							0.6	
	プレキャスト集水桝	300×600×800 細目Gr							1.1	
雑工										
現場打舗装止	現場打舗装止								1.5	
合 計			0.0	0.0	0.0	92.7	12.4	53.2	286.5	
※数量は、単位数量計算書より										

単位数量計算書

擁壁1 《 SGW16 》

L = 12.9 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 0.425×10	4.3	12.9	5.5	m3
	床堀		$(2.1 + 1.25) \times 0.85 / 2 \times 10$	14.2	12.9	18.3	m3
	埋戻	$1.0 \leq W < 4.0$	$(1.42 - 0.45) \times 10$	9.7	12.9	12.5	m3
	基面整正	土 砂	0.85×10	8.5	12.9	11.0	m2

単位数量計算書

擁壁2 《 GW15 》

L = 10.9 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 1.800×10	18.0	10.9	19.6	m3
	基面整正	土 砂	1.60×10	16.0	10.9	17.4	m2

単位数量計算書

擁壁3 《 GW1 》

L = 6.8 m

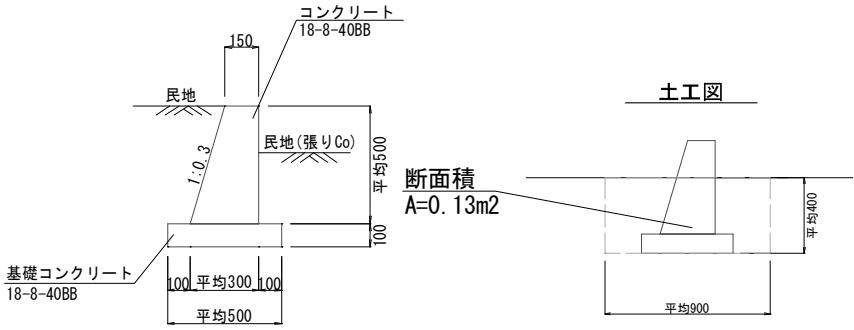
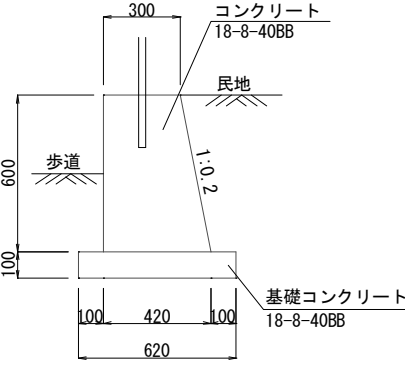
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 0.500×10	5.0	6.8	3.4	m3
	床堀		$1.2 \times 0.5 \times 10$	6.0	6.8	4.1	m3
	埋戻	$W < 1.0$	$(0.60 - 0.30) \times 10$	3.0	6.8	2.0	m3
	基面整正	土 砂	0.8×10	8.0	6.8	5.4	m2

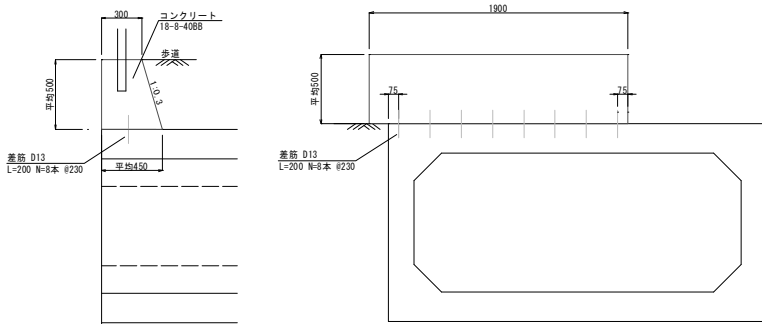
単位数量計算書

擁壁4 《 SGW46 》

L = 21.8 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 0.675×10.0	6.8	21.8	14.8	m3
	基面整正	土 砂	0.80×10	8.0	21.8	17.4	m2

単位数量計算書		擁壁5 《 SGW1 》			L = 5.4 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 0.113×10	1.1	5.4	0.6	m3
	床堀		$0.9 \times 0.4 \times 10$	3.6	5.4	1.9	m3
	埋戻	W<1.0	$(0.36-0.13) \times 10$	2.3	5.4	1.2	m3
	基面整正	土 砂	0.50×10	5.0	5.4	2.7	m2
単位数量計算書		擁壁6			L = 24.5 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	$(0.30+0.42) \times 0.6/2 \times 10$	2.2	24.5	5.4	m3
	基面整正	土 砂	0.62×10	6.2	24.5	15.2	m2

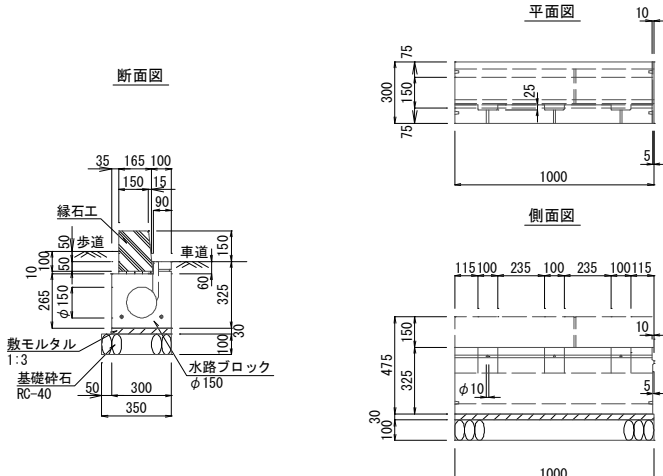
単位数量計算書			擁壁7		N = 1.0 箇所		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	$(0.30+0.45) \times 0.5/2 \times 1.9 \times 10$	3.6	1.0	0.4	m3
	型枠	小型構造物	$(0.500+0.522) \times 1.9 \times 10$	19.4	1.0	1.9	m2
	差筋	D13	$0.20 \times 8 \times 0.995 \times 10$	15.9	1.0	1.59	kg

単位数量計算書				L = m			
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位

単位数量計算書

縁石一体型側溝 水路ブロック

L = 197.3 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.35×10.0	3.5	197.3	69.1	m2

単位数量計算書

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位

$$L = 120.9 \text{ m}$$

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位																																		
Technical drawing of a drainage ditch cross-section showing dimensions: top width 500, side slopes 100, 300, 100; ditch width 300; ditch depth 95; base width 500, base depth 150; base width 600, base depth 100; base width 500, base depth 50; base width 600, base depth 50. Labels include: インバートコンクリート 18-12-20BB, 敷モルタル 1:3, 基礎コンクリート 18-12-20BB, 基礎砕石 RC-40. 自由勾配側溝(標準用 W300型)寸法一覧表 <table><tr><th rowspan="2">呼 称</th><th colspan="2">寸 法</th><th colspan="2">インバート コンクリート</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>t</th><th>t+30</th></tr><tr><td>300× 300</td><td>300</td><td>445</td><td>60</td><td>90</td></tr><tr><td>300× 400</td><td>320</td><td>545</td><td>70</td><td>100</td></tr><tr><td>300× 500</td><td>480</td><td>645</td><td>90</td><td>120</td></tr><tr><td>300× 600</td><td>550</td><td>745</td><td>130</td><td>160</td></tr><tr><td>300× 800</td><td>700</td><td>945</td><td>150</td><td>180</td></tr></table>	呼 称	寸 法		インバート コンクリート		h	H	t	t+30	300× 300	300	445	60	90	300× 400	320	545	70	100	300× 500	480	645	90	120	300× 600	550	745	130	160	300× 800	700	945	150	180	基面整正	土 砂	0.60×10.0	6.0	120.9	72.5	m2
呼 称		寸 法		インバート コンクリート																																					
	h	H	t	t+30																																					
300× 300	300	445	60	90																																					
300× 400	320	545	70	100																																					
300× 500	480	645	90	120																																					
300× 600	550	745	130	160																																					
300× 800	700	945	150	180																																					

$$L = 36.1 \text{ m}$$
[illegible]

単位数量計算書

自由勾配側溝 《 W300×H500 》

L = 14.0 m

略 図

名 称

細 別

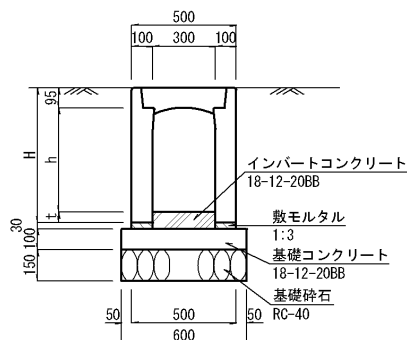
計 算 ・ 式

単位数量
(10m当り)

延長・箇所

数 量

単位



自由勾配側溝(標準用 W300型)寸法一覧表

呼 称	寸 法		インバート コンクリート	
	h	H	t	t+30
300 × 300	300	445	60	90
300 × 400	320	545	70	100
300 × 500	480	645	90	120
300 × 600	550	745	130	160
300 × 800	700	945	150	180

基面整正

土 砂

0.60×10.0

6.0

14.0

8.4

m2

単位数量計算書

自由勾配側溝 《 W300×H600 》

L = 8.5 m

略 図

名 称

細 別

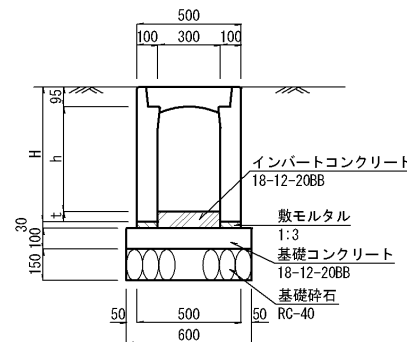
計 算 ・ 式

単位数量
(10m当り)

延長・箇所

数 量

単位



自由勾配側溝(標準用 W300型)寸法一覧表

呼 称	寸 法		インバート コンクリート	
	h	H	t	t+30
300 × 300	300	445	60	90
300 × 400	320	545	70	100
300 × 500	480	645	90	120
300 × 600	550	745	130	160
300 × 800	700	945	150	180

基面整正

土 砂

0.60×10.0

6.0

8.5

5.1

m2

単位数量計算書

自由勾配側溝 《 W300×H800 》

L = 1.3 m

略 図	名 称						細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位																																		
自由勾配側溝 (標準用 W300型) 寸法一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">呼 称</th><th colspan="2">寸 法</th><th colspan="2">インバート コンクリート</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>t</th><th>t+30</th></tr></thead><tbody><tr><td>300 × 300</td><td>300</td><td>445</td><td>60</td><td>90</td></tr><tr><td>300 × 400</td><td>320</td><td>545</td><td>70</td><td>100</td></tr><tr><td>300 × 500</td><td>480</td><td>645</td><td>90</td><td>120</td></tr><tr><td>300 × 600</td><td>550</td><td>745</td><td>130</td><td>160</td></tr><tr><td>300 × 800</td><td>700</td><td>945</td><td>150</td><td>180</td></tr></tbody></table>	呼 称	寸 法		インバート コンクリート		h	H	t	t+30	300 × 300	300	445	60	90	300 × 400	320	545	70	100	300 × 500	480	645	90	120	300 × 600	550	745	130	160	300 × 800	700	945	150	180	基面整正						土 砂	0.60×10.0	6.0	1.3	0.8	m ²
		呼 称	寸 法		インバート コンクリート																																									
	h		H	t	t+30																																									
	300 × 300	300	445	60	90																																									
	300 × 400	320	545	70	100																																									
	300 × 500	480	645	90	120																																									
	300 × 600	550	745	130	160																																									
300 × 800	700	945	150	180																																										

単位数量計算書

プレキャストU型水路

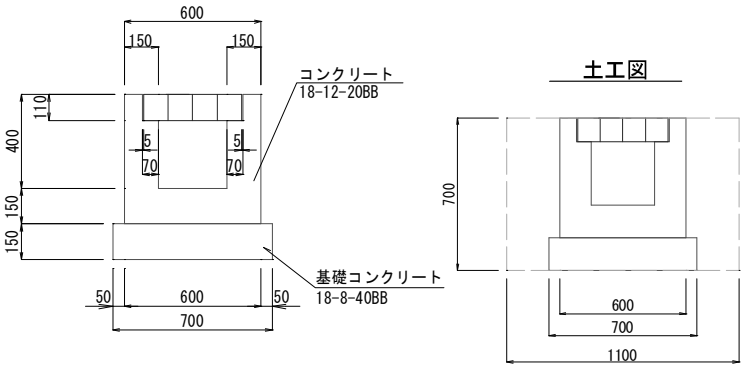
L = 9.0 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
擁壁 間詰コンクリート 18-12-20BB A=0.02m2 敷モルタル 1:3 基礎砕石 RC-40	間詰コンクリート	18-12-20BB	0.02×10.0	0.2	9.0	0.2	m3
	基面整正	土 砂	0.316×10.0	3.2	9.0	2.9	m2

単位数量計算書

現場打水路《NU234》

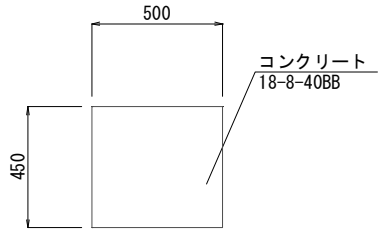
L = 12.3 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	床掘		A=0.8m ² 0.80×10.0	8.0	12.3	9.8	m ³
	埋戻	W<1.0	A=0.3m ² 0.30×10.0	3.0	12.3	3.7	m ³
	基面整正	土 砂	0.70×10.0	7.0	12.3	8.6	m ²

単位数量計算書

取合Co

L = 1.1 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-8-40BB	0.45×0.5×10.0	2.3	1.1	0.3	m ³
	型枠	無筋構造物	0.45×10.0×2	9.0	1.1	1.0	m ²
	基面整正	土 砂	0.50×10.0	5.0	1.1	0.6	m ²

単位数量計算書		水路嵩上1		N = 1.0 箇所			
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-12-20BB	$(0.25 \times 0.15 + 0.11 \times 0.08) \times 3.3 \times 2 \times 10$	3.1	1.0	0.3	m3
	型枠	小型構造物	$(0.36 + 0.25 + 0.11) \times 3.3 \times 2 \times 10$	47.5	1.0	4.8	m2
	差筋	D13	$0.2 \times 22 \times 0.995 \times 10$	43.78	1.0	4.38	kg
単位数量計算書		水路嵩上2		N = 1.0 箇所			
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-12-20BB	$(0.25 \times 0.15 + 0.11 \times 0.08) \times 4.6 \times 2 \times 10$	4.3	1.0	0.4	m3
	型枠	小型構造物	$(0.36 + 0.25 + 0.11) \times 4.6 \times 2 \times 10$	66.2	1.0	6.6	m2
	差筋	D13	$0.2 \times 30 \times 0.995 \times 10$	59.70	1.0	5.97	kg

単位数量計算書

台付管《 BZ-300 》

L = 31.3 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	床掘		1.5×10.0	15.0	31.3	47.0	m3
	埋戻	$1.0 \leq W < 4.0$	1.3×10.0	13.0	31.3	40.7	m3
	基面整正	土 砂	0.44×10.0	4.4	31.3	13.8	m2

単位数量計算書

塩ビ管《 VU150 》

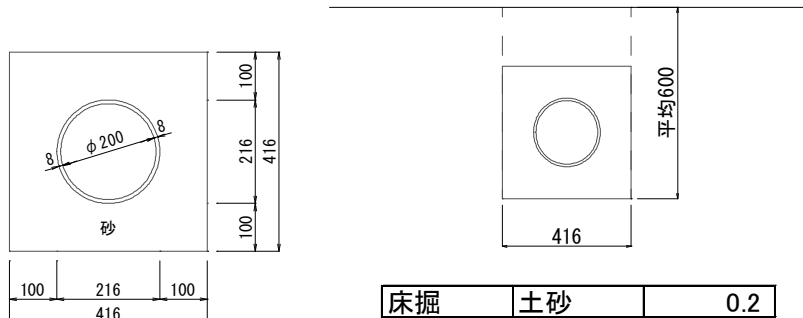
L = 11.7 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	保護砂		$(0.365 \times 0.365 - 0.083 \times 0.083 \times \pi) \times 10.0$	1.1	11.7	1.3	m3
	床掘		0.3×10.0	3.0	11.7	3.5	m3
	埋戻	$W < 1.0$	0.1×10.0	1.0	11.7	1.2	m3

単位数量計算書

塩ビ管 《 VU200 》

L = 5.1 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位						
 <table><tr><td>床掘</td><td>土砂</td><td>0.2</td></tr><tr><td>埋戻</td><td>W<1.0</td><td>0.1</td></tr></table>	床掘	土砂	0.2	埋戻	W<1.0	0.1	保護砂		$(0.416 \times 0.416 - 0.108 \times 0.108 \times \pi) \times 10.0$	1.4	5.1	0.7	m3
	床掘	土砂	0.2										
	埋戻	W<1.0	0.1										
	床掘		0.2×10.0	2.0	5.1	1.0	m3						
埋戻	W<1.0	0.1×10.0	1.0	5.1	0.5	m3							

単位数量計算書

塩ビ管 《 VU300 》

L = 4.5 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位						
<table><tr><td>床掘</td><td>土砂</td><td>0.4</td></tr><tr><td>埋戻</td><td>W<1.0</td><td>0.1</td></tr></table>	床掘	土砂	0.4	埋戻	W<1.0	0.1	保護砂		$(0.518 \times 0.518 - 0.159 \times 0.159 \times \pi) \times 10.0$	1.9	4.5	0.9	m3
	床掘	土砂	0.4										
	埋戻	W<1.0	0.1										
	床堀		0.4×10.0	4.0	4.5	1.8	m3						
	埋戻	W<1.0	0.1×10.0	1.0	4.5	0.5	m3						

単位数量計算書

塩ビ管《 VP150 》

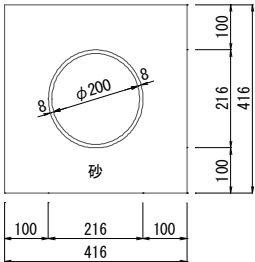
L = 13.1 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位

単位数量計算書

塩ビ管《 VP200 》

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位						
L=3.5m  <table><tr><td>床掘</td><td>土砂</td><td>0.4</td></tr><tr><td>埋戻</td><td>W<1.0</td><td>0.2</td></tr></table>	床掘	土砂	0.4	埋戻	W<1.0	0.2	塩ビ管	φ 200	3.5×10.0	35.0	1.0	3.5	m
	床掘	土砂	0.4										
	埋戻	W<1.0	0.2										
	保護砂		$(0.416 \times 0.416 - 0.108 \times 0.108 \times \pi) \times 3.5 \times 10.0$	4.8	1.0	0.5	m3						
	くら型マンホール継手	φ 200	10.0	10.0	1.0	1.0	本						
	削孔	φ 200	10.0	10.0	1.0	1.0	孔						
床堀		$0.4 \times 3.5 \times 10.0$	14.0	1.0	1.4	m3							
埋戻	W<1.0	$0.2 \times 3.5 \times 10.0$	7.0	1.0	0.7	m3							

単位数量計算書

縁石一体型側溝 管理樹

N = 13.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	樹本体	上部ブ ^レ ック	10.0	10.0	13.0	13.0	個
	インバートコンクリート	18-12-20BB	$0.42 \times 0.27 \times 0.08 \times 10.0$	0.1	13.0	0.13	m3
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.57 \times 0.67 \times 0.15 \times 10.0$	0.6	13.0	0.8	m3
	基礎型枠		$(0.57 \times 0.15 \times 2 + 0.67 \times 0.15 \times 2) \times 10$	3.7	13.0	4.8	m2
	基面整正	土 砂	$0.57 \times 0.67 \times 10.0$	3.8	13.0	4.9	m2

単位数量計算書

縁石一体型側溝 車道樹1

N = 3.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	樹本体	上部ブロック	10.0	10.0	3.0	3.0	個
	樹本体	下部ブロック	10.0	10.0	3.0	3.0	個
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.61 \times 0.67 \times 0.15 \times 10.0$	0.6	3.0	0.2	m3
	基礎型枠		$(0.61 \times 0.15 \times 2 + 0.67 \times 0.15 \times 2) \times 10$	3.8	3.0	1.1	m2
	基面整正	土 砂	$0.67 \times 0.61 \times 10.0$	4.1	3.0	1.2	m2

単位数量計算書

縁石一体型側溝 車道樹2

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	樹本体	上部ブロック	10.0	10.0	1.0	1.0	個
	樹本体	調整ブロック	10.0	10.0	1.0	1.0	個
	樹本体	下部ブロック	10.0	10.0	1.0	1.0	個
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.61 \times 0.67 \times 0.15 \times 10.0$	0.6	1.0	0.1	m3
	基礎型枠		$(0.61 \times 0.15 \times 2 + 0.67 \times 0.15 \times 2) \times 10$	3.8	1.0	0.4	m2
	基面整正	土 砂	$0.67 \times 0.61 \times 10.0$	4.1	1.0	0.4	m2

単位数量計算書

プレキャスト集水樹 《 300×300×500 》

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位																																																																																							
300×300型 平面図 A-A B-B 底面図 プレキャスト集水樹 (300×300) 寸法一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">規格</th><th colspan="5">寸 法</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>b</th><th>B</th><th>t</th></tr></thead><tbody><tr><td>300×300×500</td><td>450</td><td>560</td><td>315</td><td>389</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×800</td><td>750</td><td>860</td><td>321</td><td>396</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×900</td><td>850</td><td>960</td><td>323</td><td>398</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×1200</td><td>1150</td><td>1260</td><td>325</td><td>400</td><td>50</td></tr></tbody></table> プレキャスト集水樹 (300×300) 接続一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">測点</th><th colspan="4">接続水路等</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr></thead><tbody><tr><td>9</td><td>300×300×500</td><td>No. 6+12. 5</td><td>右</td><td>VUφ 150</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400</td><td>「グレーチング」 細目</td></tr><tr><td>3</td><td>300×300×800</td><td>No. 5+6. 3</td><td>左</td><td>VUφ 300</td><td>自由勾配 300×400</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400 「グレーチング」 細目</td></tr><tr><td>6</td><td>300×300×800</td><td>No. 5+6. 2</td><td>右</td><td>VUφ 300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目</td></tr><tr><td>1</td><td>300×300×900</td><td>No. 2+5. 7</td><td>左</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目</td></tr><tr><td>10</td><td>300×300×1200</td><td>No. 7+1. 0</td><td>右</td><td>台付管 φ300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>既設 300×300</td><td>— 「グレーチング」 細目</td></tr></tbody></table>	規格	寸 法					h	H	b	B	t	300×300×500	450	560	315	389	50	300×300×800	750	860	321	396	50	300×300×900	850	960	323	398	50	300×300×1200	1150	1260	325	400	50	番号	規格	測点	接続水路等				備 考	1	2	3	4	9	300×300×500	No. 6+12. 5	右	VUφ 150	—	自由勾配 300×400	「グレーチング」 細目	3	300×300×800	No. 5+6. 3	左	VUφ 300	自由勾配 300×400	—	自由勾配 300×400 「グレーチング」 細目	6	300×300×800	No. 5+6. 2	右	VUφ 300	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目	1	300×300×900	No. 2+5. 7	左	—	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目	10	300×300×1200	No. 7+1. 0	右	台付管 φ300	自由勾配 300×300	既設 300×300	— 「グレーチング」 細目	プレキャスト集水樹	300×300×500	10. 0	10. 0	1. 0	1. 0	組
		規格	寸 法																																																																																											
	h		H	b	B	t																																																																																								
	300×300×500	450	560	315	389	50																																																																																								
	300×300×800	750	860	321	396	50																																																																																								
	300×300×900	850	960	323	398	50																																																																																								
	300×300×1200	1150	1260	325	400	50																																																																																								
	番号	規格	測点	接続水路等				備 考																																																																																						
				1	2	3	4																																																																																							
	9	300×300×500	No. 6+12. 5	右	VUφ 150	—	自由勾配 300×400	「グレーチング」 細目																																																																																						
3	300×300×800	No. 5+6. 3	左	VUφ 300	自由勾配 300×400	—	自由勾配 300×400 「グレーチング」 細目																																																																																							
6	300×300×800	No. 5+6. 2	右	VUφ 300	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目																																																																																							
1	300×300×900	No. 2+5. 7	左	—	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300 「グレーチング」 細目																																																																																							
10	300×300×1200	No. 7+1. 0	右	台付管 φ300	自由勾配 300×300	既設 300×300	— 「グレーチング」 細目																																																																																							
	インハートコンクリート	18-12-20BB	$(0. 389 \times 0. 315 + (0. 389 - 0. 315) \times 0. 315) \times 0. 08 \times 10. 0$	0. 1	1. 0	0. 01	m3																																																																																							
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0. 60 + 0. 60) \times 0. 10 \times 2 \times 10. 0$	2. 4	1. 0	0. 2	m2																																																																																							
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0. 60 \times 0. 60 \times 0. 10 \times 10. 0$	0. 4	1. 0	0. 04	m3																																																																																							

単位数量計算書

プレキャスト集水樹 《 300×300×800 》

N = 2.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位																																																																																											
300×300型 平面図 A-A B-B 底面図 プレキャスト集水樹 (300×300型) 寸法一覧表 <table><tr><th rowspan="2">規格</th><th colspan="5">寸 法</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>b</th><th>B</th><th>t</th></tr><tr><td>300×300×500</td><td>450</td><td>560</td><td>315</td><td>389</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×800</td><td>750</td><td>860</td><td>321</td><td>396</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×900</td><td>850</td><td>960</td><td>323</td><td>398</td><td>50</td></tr><tr><td>300×300×1200</td><td>1150</td><td>1260</td><td>325</td><td>400</td><td>50</td></tr></table> プレキャスト集水樹 (300×300) 接続一覧表 <table><tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">測点</th><th colspan="4">接続水路等</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr><tr><td>9</td><td>300×300×500</td><td>No. 6+12.5</td><td>右</td><td>VU φ 150</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>3</td><td>300×300×800</td><td>No. 5+6.3</td><td>左</td><td>VU φ 300</td><td>自由勾配 300×400</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>6</td><td>300×300×800</td><td>No. 5+6.2</td><td>右</td><td>VU φ 300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>1</td><td>300×300×900</td><td>No. 2+5.7</td><td>左</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>VP φ 200</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>10</td><td>300×300×1200</td><td>No. 7+1.0</td><td>右</td><td>台付管 φ 300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>既設 300×300</td><td>—</td><td>グレーチング 細目</td></tr></table>	規格	寸 法					h	H	b	B	t	300×300×500	450	560	315	389	50	300×300×800	750	860	321	396	50	300×300×900	850	960	323	398	50	300×300×1200	1150	1260	325	400	50	番号	規格	測点	接続水路等				備 考	1	2	3	4	9	300×300×500	No. 6+12.5	右	VU φ 150	—	自由勾配 300×400	グレーチング 細目	3	300×300×800	No. 5+6.3	左	VU φ 300	自由勾配 300×400	—	自由勾配 300×400	グレーチング 細目	6	300×300×800	No. 5+6.2	右	VU φ 300	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	1	300×300×900	No. 2+5.7	左	—	自由勾配 300×300	—	VP φ 200	グレーチング 細目	10	300×300×1200	No. 7+1.0	右	台付管 φ 300	自由勾配 300×300	既設 300×300	—	グレーチング 細目	プレキャスト集水樹	300×300×800	10.0	10.0	2.0	2.0	組
		規格	寸 法																																																																																															
	h		H	b	B	t																																																																																												
	300×300×500	450	560	315	389	50																																																																																												
	300×300×800	750	860	321	396	50																																																																																												
	300×300×900	850	960	323	398	50																																																																																												
	300×300×1200	1150	1260	325	400	50																																																																																												
	番号	規格	測点	接続水路等				備 考																																																																																										
				1	2	3	4																																																																																											
	9	300×300×500	No. 6+12.5	右	VU φ 150	—	自由勾配 300×400	グレーチング 細目																																																																																										
3	300×300×800	No. 5+6.3	左	VU φ 300	自由勾配 300×400	—	自由勾配 300×400	グレーチング 細目																																																																																										
6	300×300×800	No. 5+6.2	右	VU φ 300	自由勾配 300×300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																																																										
1	300×300×900	No. 2+5.7	左	—	自由勾配 300×300	—	VP φ 200	グレーチング 細目																																																																																										
10	300×300×1200	No. 7+1.0	右	台付管 φ 300	自由勾配 300×300	既設 300×300	—	グレーチング 細目																																																																																										
	インバートコンクリート	18-12-20BB	$(0.396 \times 0.321 + (0.396 - 0.321) \times 0.321) \times 0.08 \times 10.0$	0.1	2.0	0.02	m3																																																																																											
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0.60 + 0.60) \times 0.10 \times 2 \times 10.0$	2.4	2.0	0.5	m2																																																																																											
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.60 \times 0.60 \times 0.10 \times 10.0$	0.4	2.0	0.08	m3																																																																																											

単位数量計算書

プレキャスト集水樹 《 300×300×900 》

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
300×300型 平面図 A-A B-B 底面図 プレキャスト集水樹 (300×300型) 寸法一覧表 プレキャスト集水樹 (300×300) 接続一覧表	プレキャスト集水樹	300×300×900	10.0	10.0	1.0	1.0	組
	インバートコンクリート	18-12-20BB	$(0.398 \times 0.323 + (0.398 - 0.323) \times 0.323) \times 0.08 \times 10.0$	0.1	1.0	0.01	m3
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0.60 + 0.60) \times 0.10 \times 2 \times 10.0$	2.4	1.0	0.2	m2
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.60 \times 0.60 \times 0.10 \times 10.0$	0.4	1.0	0.04	m3
	基面整正	土 砂	$0.60 \times 0.60 \times 10.0$	3.6	1.0	0.4	m2

N = 1.0 箇所

426/542

単位数量計算書

プレキャスト集水桝《 400×400×600 》

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位																																																										
400×400型 平面図 A-A B-B 底面図 プレキャスト集水桝(400×400型)寸法一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">呼 称</th><th colspan="4">寸 法</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>b</th><th>B</th></tr></thead><tbody><tr><td>400×400×600</td><td>550</td><td>665</td><td>438</td><td>510</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>750</td><td>865</td><td>438</td><td>510</td></tr></tbody></table> プレキャスト集水桝(400×400)接続一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">測 点</th><th colspan="4">接続水路等</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr></thead><tbody><tr><td>400×400×600</td><td>No. 6+3. 9</td><td>右</td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 3+5. 3</td><td>右</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400</td><td>台付管 φ300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 3+9. 9</td><td>右</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 6+8. 5</td><td>右</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr></tbody></table>	呼 称	寸 法				h	H	b	B	400×400×600	550	665	438	510	400×400×800	750	865	438	510	規格	測 点	接続水路等				備 考	1	2	3	4	400×400×600	No. 6+3. 9	右	自由勾配 300×300	—	台付管 φ300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 3+5. 3	右	—	自由勾配 300×400	台付管 φ300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 3+9. 9	右	—	台付管 φ300	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 6+8. 5	右	—	台付管 φ300	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	プレキャスト集水桝	400×400×600	10. 0	10. 0	1. 0	1. 0	組
		呼 称	寸 法																																																														
	h		H	b	B																																																												
	400×400×600	550	665	438	510																																																												
	400×400×800	750	865	438	510																																																												
	規格	測 点	接続水路等				備 考																																																										
			1	2	3	4																																																											
	400×400×600	No. 6+3. 9	右	自由勾配 300×300	—	台付管 φ300	グレーチング 細目																																																										
	400×400×800	No. 3+5. 3	右	—	自由勾配 300×400	台付管 φ300	グレーチング 細目																																																										
	400×400×800	No. 3+9. 9	右	—	台付管 φ300	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																										
400×400×800	No. 6+8. 5	右	—	台付管 φ300	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																											
	インバートコンクリート	18-12-20BB	$(0. 510 \times 0. 438 + (0. 510 - 0. 438) \times 0. 438) \times 0. 08 \times 10. 0$	0. 2	1. 0	0. 02	m3																																																										
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0. 71 + 0. 71) \times 0. 10 \times 2 \times 10. 0$	2. 8	1. 0	0. 3	m2																																																										
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0. 71 \times 0. 71 \times 0. 10 \times 10. 0$	0. 5	1. 0	0. 05	m3																																																										

単位数量計算書

プレキャスト集水樹《 400×400×800 》

N = 2.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位																																																															
400×400型 平面図 A-A B-B 底面図 インパートコンクリート 18-12-20BB 敷モルタル 1:3 基礎コンクリート 18-12-20BB 基礎砂石 RC-40 グレーチング 細目110° 開閉 プレキャスト集水樹(400×400型) 寸法一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">呼 称</th><th colspan="4">寸 法</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>b</th><th>B</th></tr></thead><tbody><tr><td>400×400×600</td><td>550</td><td>665</td><td>438</td><td>510</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>750</td><td>865</td><td>438</td><td>510</td></tr></tbody></table> プレキャスト集水樹(400×400) 接続一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">測 点</th><th rowspan="2"></th><th colspan="4">接続水路等</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr></thead><tbody><tr><td>400×400×600</td><td>No. 6+3. 9</td><td>右</td><td></td><td>自由勾配 300×300</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 3+5. 3</td><td>右</td><td>—</td><td>自由勾配 300×400</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 3+9. 9</td><td>右</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>400×400×800</td><td>No. 6+8. 5</td><td>右</td><td>—</td><td>台付管 φ300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr></tbody></table>	呼 称	寸 法				h	H	b	B	400×400×600	550	665	438	510	400×400×800	750	865	438	510	規格	測 点		接続水路等				備 考	1	2	3	4	400×400×600	No. 6+3. 9	右		自由勾配 300×300	—	台付管 φ300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 3+5. 3	右	—	自由勾配 300×400	—	台付管 φ300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 3+9. 9	右	—	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	400×400×800	No. 6+8. 5	右	—	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	プレキャスト集水樹	400×400×800	10. 0	10. 0	2. 0	2. 0	組
		呼 称	寸 法																																																																			
	h		H	b	B																																																																	
	400×400×600	550	665	438	510																																																																	
	400×400×800	750	865	438	510																																																																	
	規格	測 点		接続水路等				備 考																																																														
				1	2	3	4																																																															
	400×400×600	No. 6+3. 9	右		自由勾配 300×300	—	台付管 φ300	グレーチング 細目																																																														
	400×400×800	No. 3+5. 3	右	—	自由勾配 300×400	—	台付管 φ300	グレーチング 細目																																																														
	400×400×800	No. 3+9. 9	右	—	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																														
400×400×800	No. 6+8. 5	右	—	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																															
	インパートコンクリート	18-12-20BB	$(0. 510 \times 0. 438 + (0. 510 - 0. 438) \times 0. 438) \times 0. 08 \times 10. 0$	0. 2	2. 0	0. 04	m3																																																															
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0. 71 + 0. 71) \times 0. 10 \times 2 \times 10. 0$	2. 8	2. 0	0. 6	m2																																																															
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0. 71 \times 0. 71 \times 0. 10 \times 10. 0$	0. 5	2. 0	0. 1	m3																																																															

単位数量計算書

プレキャスト集水桝《 300×600×600 》

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位																																																											
300×600型 平面図 A-A B-B 底面図 グレーチング 細目110° 開閉 敷モルタル 1:3 基礎コンクリート 18-12-20BB 基礎碎石 RC-40 インバートコンクリート 18-12-20BB 敷モルタル 1:3 基礎コンクリート 18-12-20BB 基礎碎石 RC-40 プレキャスト集水桝 (300×600型) 寸法一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">呼 称</th><th colspan="6">寸 法</th></tr><tr><th>h</th><th>H</th><th>b1</th><th>B1</th><th>b2</th><th>B2</th></tr></thead><tbody><tr><td>300×600×600</td><td>550</td><td>660</td><td>619</td><td>760</td><td>319</td><td>430</td></tr><tr><td>300×600×800</td><td>750</td><td>860</td><td>619</td><td>760</td><td>319</td><td>430</td></tr></tbody></table> プレキャスト集水桝 (300×600) 接続一覧表 <table><thead><tr><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">測点</th><th colspan="4">接続水路等</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr></thead><tbody><tr><td>300×600×600</td><td>既存道路</td><td>左</td><td>VPφ150</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr><tr><td>300×600×800</td><td>No. 3+16.8</td><td>左</td><td>—</td><td>VPφ150</td><td>VUφ150</td><td>自由勾配 300×300</td></tr><tr><td>300×600×800</td><td>既存道路</td><td>左</td><td>台付管 φ300</td><td>—</td><td>自由勾配 300×300</td><td>グレーチング 細目</td></tr></tbody></table>	呼 称	寸 法						h	H	b1	B1	b2	B2	300×600×600	550	660	619	760	319	430	300×600×800	750	860	619	760	319	430	規格	測点	接続水路等				備 考	1	2	3	4	300×600×600	既存道路	左	VPφ150	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	300×600×800	No. 3+16.8	左	—	VPφ150	VUφ150	自由勾配 300×300	300×600×800	既存道路	左	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目	プレキャスト集水桝	300×600×600	10.0	10.0	1.0	1.0	組
		呼 称	寸 法																																																															
	h		H	b1	B1	b2	B2																																																											
	300×600×600	550	660	619	760	319	430																																																											
	300×600×800	750	860	619	760	319	430																																																											
	規格	測点	接続水路等				備 考																																																											
			1	2	3	4																																																												
	300×600×600	既存道路	左	VPφ150	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																											
	300×600×800	No. 3+16.8	左	—	VPφ150	VUφ150	自由勾配 300×300																																																											
	300×600×800	既存道路	左	台付管 φ300	—	自由勾配 300×300	グレーチング 細目																																																											
	インバートコンクリート	18-12-20BB	$(0.760 \times 0.319 + (0.430 - 0.319) \times 0.619) \times 0.08 \times 10.0$	0.2	1.0	0.02	m3																																																											
	基礎型枠	均しコンクリート	$(0.93 + 0.60) \times 0.10 \times 2 \times 10.0$	3.1	1.0	0.3	m2																																																											
	基礎コンクリート	18-12-20BB	$0.93 \times 0.60 \times 0.10 \times 10.0$	0.6	1.0	0.06	m3																																																											

N = 2.0 箇所

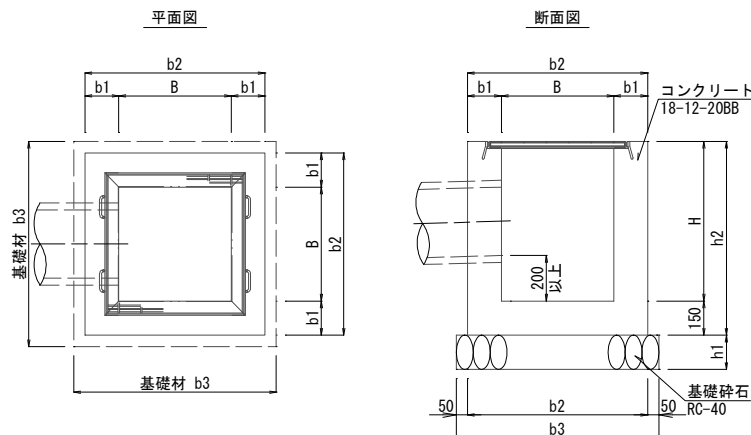
430/542

単位数量計算書

現場打集水桝《 500×500×1000 》

N = 1.0 箇所

略 図



現場打集水桝寸法

規格	寸 法 表 (単位:mm)							摘 要
	B	H	b1	b2	b3	h1	h2	
500×500×1000	500	1000	150	800	900	150	1150	

現場打集水桝接続

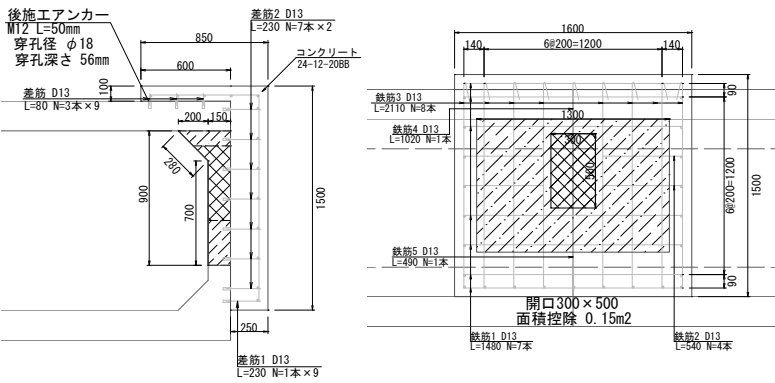
測 点		接 続 水 路 等				備 考
		1	2	3	4	
No. 0+17.4	右	自由勾配 300×300	台付管 φ300	台付管 φ300	—	500×500用 T-25 細目 ボルト固定 (参考: 受枠626*626*56)

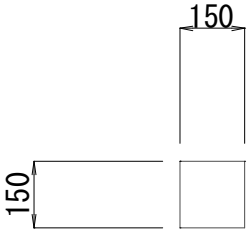
名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
開口控除面積	台付管 φ300	$0.15 \times 0.15 \times \pi \times 2$	0.141			
	自由勾配側溝 300×300	0.3×0.3	0.090			
		控除面積合計 =	0.231			
		1箇所当り $0.231/1.0$	0.231			m2
コンクリート	18-12-20BB	$(0.80 \times 0.80 \times 1.15 - 0.626 \times 0.626 \times 0.056 - 0.50 \times 0.50 \times 0.944 - 0.231 \times 0.15) \times 10.0$	4.4	1.0	0.4	m3
グレーチング 蓋	500×500用 T-25 細目ボルト固定	10.0	10.0	1.0	1.0	枚
基面整正		$0.90 \times 0.90 \times 10.0$	8.1	1.0	0.8	m2

N = 1.0 箇所

[illegible]

単位数量計算書		防護工		N = 5.0 箇所				
略 図		名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
		型枠	小型構造物	$(0.75 \times 0.80 - 0.148 + 0.25 \times 0.80 \times 2) \times 10$	8.5	5.0	4.3	m2
		コンクリート	18-12-20BB	$(0.75 \times 0.80 - 0.148) \times 0.25 \times 10$	1.1	5.0	0.6	m3
		鉄筋	D13	$(0.65 \times 2 + 0.70 \times 2 + 0.23 \times 12) \times 0.995 \times 10$	54.3	5.0	27.2	kg
		あと施工アンカー	M12	12.0×10.0	120.0	5.0	60.0	本
		削孔	φ 18	12.0×10.0	120.0	5.0	60.0	孔
単位数量計算書		補強コンクリート1		N = 1.0 箇所				
略 図		名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
		型枠	小型構造物	$((2.0 \times 1.5 - 0.148) + (1.5 \times 0.25 + 0.6 \times 0.1) \times 2 + 2.0 \times 0.1 + (0.65 + 0.28) \times 1.5) \times 10.0$	53.2	1.0	5.3	m2
		コンクリート	18-12-20BB	$((2.0 \times 1.5 - 0.148) \times 0.25 + 0.6 \times 0.1 \times 2.0 + (0.2 \times 0.2 + 0.85 \times 0.15) \times 1.5 - 0.148 \times 0.15) \times 10.0$	10.3	1.0	1.0	m3
		鉄筋	D13	$(1.88 \times 6 + 0.54 \times 6 + 2.11 \times 8 + 1.02 \times 3 + 0.29 \times 3 + 0.23 \times 11 + 0.23 \times 14 + 0.08 \times 27) \times 0.995 \times 10$	430.2	1.0	43.0	kg
		あと施工アンカー	M12	$(1 \times 11 + 7 \times 2 + 3 \times 11) \times 10.0$	580.0	1.0	58.0	本
		削孔	φ 18	$(1 \times 11 + 7 \times 2 + 3 \times 11) \times 10.0$	580.0	1.0	58.0	孔

単位数量計算書		補強コンクリート2			N = 1.0 箇所		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	型枠	小型構造物	$((1.6 \times 1.5 - 0.15) + (1.5 \times 0.25 + 0.6 \times 0.1)) \times 2 + 1.6 \times 0.1 + (0.70 + 0.28) \times 1.3 \times 10.0$	45.5	1.0	4.6	m2
	コンクリート	18-12-20BB	$((1.6 \times 1.5 - 0.15) \times 0.25 + 0.6 \times 0.1 \times 1.6 + (0.2 \times 0.2 / 2 + 0.9 \times 0.15) \times 1.3 - 0.3 \times 0.5 \times 0.15) \times 10.0$	8.4	1.0	0.8	m3
	鉄筋	D13	$(1.48 \times 7 + 0.54 \times 4 + 2.11 \times 8 + 1.02 \times 1 + 0.49 \times 1 + 0.23 \times 9 + 0.23 \times 14 + 0.08 \times 27) \times 0.995 \times 10$	381.7	1.0	38.2	kg
	あと施工アンカー	M12	$(1 \times 9 + 7 \times 2 + 3 \times 9) \times 10.0$	500.0	1.0	50.0	本
	削孔	φ18	$(1 \times 9 + 7 \times 2 + 3 \times 9) \times 10.0$	500.0	1.0	50.0	孔
単位数量計算書		N = 箇所					
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量	延長・箇所	数 量	単位

単位数量計算書		現場打舗装止				L = 10.2 m	
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-12-20BB	小型構造物標準図集より	0.2	10.2	0.2	m3
	型枠	無筋構造物	小型構造物標準図集より	3.0	10.2	3.1	m2
	基面整正	土 砂	0.15×10.0	1.5	10.2	1.5	m2
単位数量計算書		L = m					
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位

自由勾配側溝 インパ-トコンクリート平均厚さ						計 算 書					
測 点	工種	W300×H300(標準)インパ-ト厚			摘 要	測 点	工種	W300×H300(標準)インパ-ト厚			摘 要
	距離	厚 さ	平 均	面 積			距離	厚 さ	平 均	面 積	
NO.0 +5.65	0.00	0.050	-	-	東側	NO.1 +0.30	0.00	0.083	-	-	北側既設道路
NO.1	17.95	0.050	0.0500	0.898	東側	NO.1 +2.30	2.00	0.134	0.1085	0.217	北側既設道路
NO.2	20.00	0.050	0.0500	1.000	東側	NO.1 +4.30	2.00	0.114	0.1240	0.248	北側既設道路
NO.2 +5.71	5.71	0.050	0.0500	0.286	東側	NO.1 +6.30	2.00	0.078	0.0960	0.192	北側既設道路
NO.3 +10.54	0.00	0.050	-	-	西側	NO.1 +7.80	1.52	0.050	0.0640	0.097	北側既設道路
NO.4	9.10	0.050	0.0500	0.455	西側	NO.1 +3.03	0.00	0.094	-	-	南側既設道路(左)
NO.5	20.00	0.050	0.0500	1.000	西側	NO.1 +5.03	2.00	0.128	0.1110	0.222	南側既設道路(左)
NO.5 +6.24	6.24	0.050	0.0500	0.312	西側	NO.1 +11.00	6.00	0.145	0.1365	0.819	南側既設道路(左)
NO.5 +6.74	0.00	0.050	-	-	西側	NO.1 +3.05	0.00	0.062	-	-	南側既設道路(右)
NO.6	12.97	0.050	0.0500	0.649	西側	NO.1 +11.00	8.00	0.130	0.0960	0.768	南側既設道路(右)
NO.6 +3.87	3.87	0.050	0.0500	0.194	西側						
NO.6 +9.14	0.00	0.050	-	-	西側						
NO.6 +10.64	1.50	0.050	0.0500	0.075	西側						
							m			m2	
						小 計	23.52			2.563	
	m			m2			m			m2	インパ-ト平均厚
小 計	97.34			4.869		合 計	120.86			7.432	7.432/120.86≒ 0.06 m

自由勾配側溝 インパ-トコンクリ-ト平均厚さ

計 算 書

測 点	工種 距離	W300×H500(標準)インパ-ト厚			摘 要	測 点	工種 距離	W300×H600(標準)インパ-ト厚			摘 要
		厚 さ	平 均	面 積				厚 さ	平 均	面 積	
NO.4 +2.25	m 0.00	m 0.052	m -	m2 -	東側	NO.3 +17.30	m 0.00	m 0.050	m -	m2 -	東側
NO.4 +10.00	7.75	0.092	0.0720	0.558	東側	NO.4	2.70	0.116	0.0830	0.224	東側
NO.4 +16.25	6.25	0.149	0.1205	0.753	東側	NO.4 +2.25	2.25	0.152	0.1340	0.302	東側
						NO.0 +19.53	0.00	0.109	-	-	南側既設道路(左)
						NO.1 +1.03	1.50	0.286	0.1975	0.296	南側既設道路(左)
						NO.0 +19.05	0.00	0.057	-	-	南側既設道路(右)
						NO.1 +1.05	2.00	0.250	0.1535	0.307	
合 計	m 14.00			m2 1.311	インパ-ト平均厚 1.311/14≒ 0.09 m	合 計	m 8.45			m2 1.129	インパ-ト平均厚 1.129/8.45≒ 0.13 m

縁石工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
縁石工						
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	FA-1型	標準部 両面R	$(10.6+0.6+9.3+2.9+6.8+6.1+4.3+2.8)+(1.0+31.8+0.8+5.1+5.1+8.9+4.1)$	100.2	m	縁石平面図
	FM-1型	両面R 水抜用	$(3.0+2.4+0.6+1.8+1.8+1.2+0.6)+(7.8+1.2+1.2+2.4+1.2)$	25.2	m	縁石平面図 @3.0m
	FKS-1型	切下擦付部	$(0.6 \times 5) + (0.6 \times 5)$	6.0	m	縁石平面図
	FN型	車両乗入部	$(6.0+4.0+10.0+8.0+8.0+4.0)+(6.0+6.0+6.0+6.0)$	64.0	m	縁石平面図
	FNS-1型	乗入擦付部	$(0.6 \times 12) + (0.6 \times 8)$	12.0	m	縁石平面図
縁石一体型側溝	FA-2型	標準A型	$3.8+(1.6+2.8+2.2)$	10.4	m	縁石平面図
	FKS-2型	切下擦付部	$1.0+(1.0+1.0+1.0)$	4.0	m	縁石平面図
	FK-1型	歩道切下部R2.5	$(4.0+4.0+2.5)+(3.4+3.4+3.4)$	20.7	m	縁石平面図
	FK-1型	歩道切下部R4.5	3.5	3.5	m	縁石平面図
	FK-1型	歩道切下部R6.0	9.0	9.0	m	縁石平面図
	FK-1型	歩道切下部R12.0	$8.0+4.8$	12.8	m	縁石平面図
駒止ﾌﾞﾛｯｸ	FA-3型		$15.5+4.4$	19.9	m	縁石平面図
	FK-2型	歩道切下部	$(3.4+3.9)+(3.5+5.0+3.9)$	19.7	m	縁石平面図
	FKS-3型	切下擦付部	$0.6+0.6+0.6$	1.8	m	縁石平面図
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A型	120×120	$10.8+5.9$	16.7	m	計画平面図
現場打街渠	NGF515A	セミフラット型 一般部	$3.2+0.8$	4.0	m	縁石平面図
	NG515N	車両乗入部	4.2	4.2	m	縁石平面図
	NGF515SA	乗入擦付部	0.6×3	1.8	m	縁石平面図

縁石工 作業土工集計表

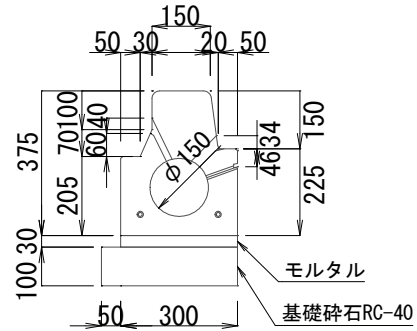
種別・細別	名 称	規 格	数 量					基面整正 (m2)	摘 要
縁石工									
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	FA-1型	標準部 両面R						—	
	FM-1型	両面R 水抜用						—	
	FKS-1型	切下擦付部						—	
	FN型	車両乗入部						—	
	FNS-1型	乗入擦付部						—	
縁石一体型側溝	FA-2型	標準A型						3.6	
	FKS-2型	切下擦付部						1.4	
	FK-1型	歩道切下部R2.5						7.2	
	FK-1型	歩道切下部R4.5						1.2	
	FK-1型	歩道切下部R6.0						3.2	
	FK-1型	歩道切下部R12.0						4.5	
駒止ﾌﾞﾛｯｸ	FA-3型							4.4	
	FK-2型	歩道切下部						5.1	
	FKS-3型	切下擦付部						0.4	
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A型	120×120						3.0	
現場打街渠	NGF515A	セミフラット型 一般部						3.3	
	NG515N	車両乗入部						3.4	
	NGF515SA	乗入擦付部						1.5	
合計								42.2	
※数量は、単位数量計算書より									

単位数量計算書

縁石一体型側溝《 FA-2型 》

L = 10.4 m

略 図



名 称

細 別

計 算 ・ 式

単位数量
(10m当り)

延長・箇所

数 量

単位

基面整正

土 砂

0.35×10.0

3.5

10.4

3.6

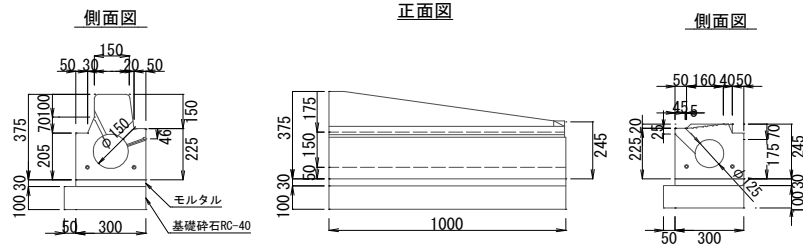
m2

単位数量計算書

縁石一体型側溝《 FKS-2型 》

L = 4.0 m

略 図



基面整正

土 砂

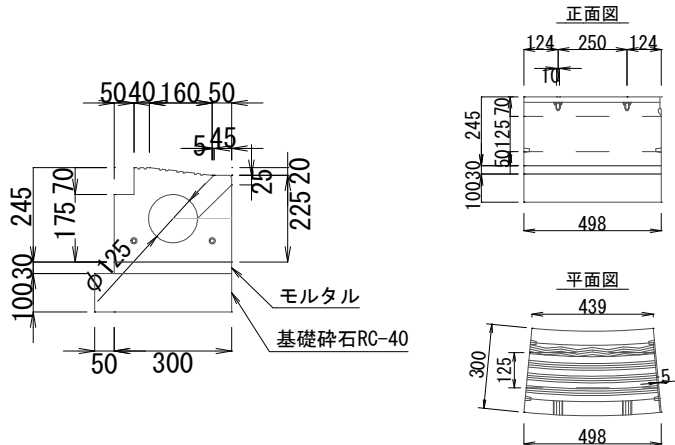
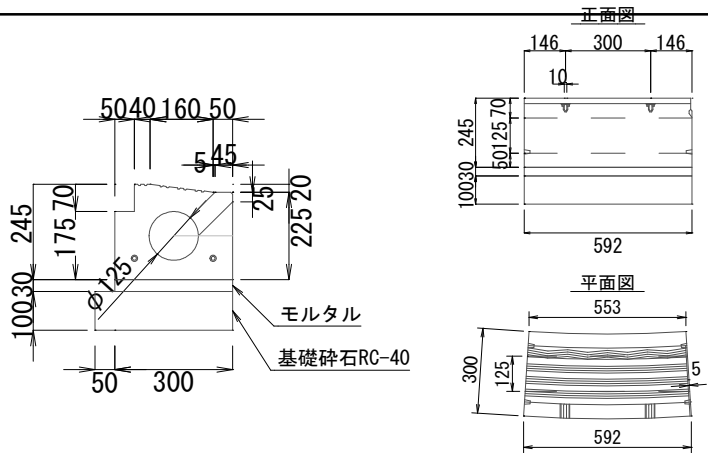
0.35×10.0

3.5

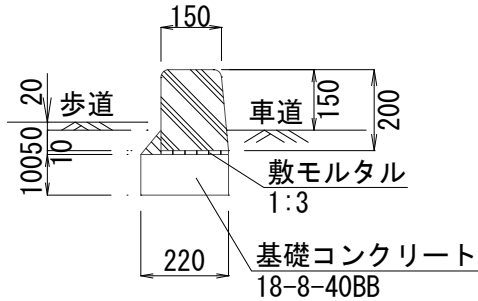
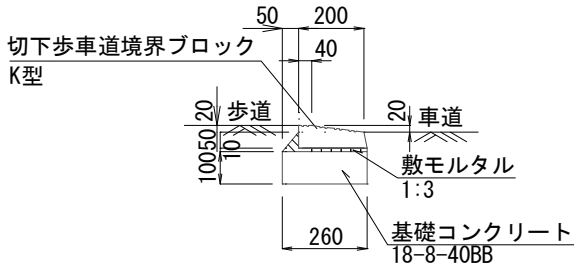
4.0

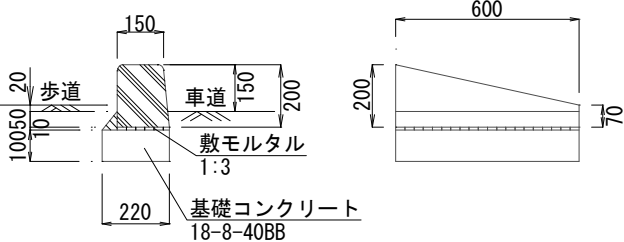
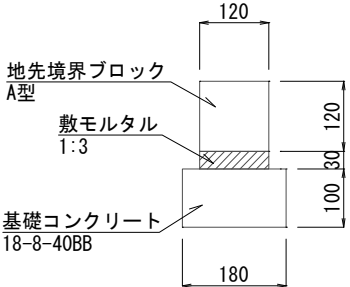
1.4

m2

単位数量計算書		縁石一体型側溝 《 FK-1型 》 R2. 5			L = 20.7 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.35×10.0	3.5	20.7	7.2	m2
単位数量計算書		縁石一体型側溝 《 FK-1型 》 R4. 5			L = 3.5 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.35×10.0	3.5	3.5	1.2	m2

単位数量計算書		縁石一体型側溝 《 FK-1型 》 R6.0			L = 9.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基面整正	土 砂	0.35×10.0	3.5	9.0	3.2	m2
単位数量計算書		縁石一体型側溝 《 FK-1型 》 R12.0			L = 12.8 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基面整正	土 砂	0.35×10.0	3.5	12.8	4.5	m2

単位数量計算書		駒止ブロック《 FA-3型 》			L = 19.9 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.220×10.0	2.2	19.9	4.4	m ²
単位数量計算書		駒止ブロック《 FK-2型 》			L = 19.7 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.26×10.0	2.6	19.7	5.1	m ²

単位数量計算書		駒止ブロック《 FKS-3型 》			L = 1.8 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.220×10.0	2.2	1.8	0.4	m ²
単位数量計算書		地先境界ブロック《 A型 》			L = 16.7 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
							
	基面整正	土 砂	0.18×10.0	1.8	16.7	3.0	m ²

単位数量計算書

現場打街渠 《NGF515A》

L = 4.0 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基面整正	土 砂	0.815×10.0	8.2	4.0	3.3	m ²

単位数量計算書

現場打街渠 《NG515N》

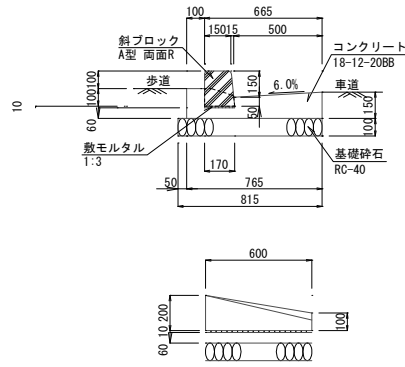
L = 4.2 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基面整正	土 砂	0.80×10.0	8.0	4.2	3.4	m ²

単位数量計算書

現場打街渠 《NGF515SA》

L = 1.8 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	コンクリート	18-12-20BB	小型構造物標準図集より	0.9	1.8	0.16	m3
	型枠	小型構造物	小型構造物標準図集より	3.2	1.8	0.6	m2
	基礎碎石	RC-40	0.815×10.0	8.2	1.8	1.5	m2
	斜ブロック	A型 両面R	$10.0 / 0.600$	16.7	1.8	3.0	個
	基面整正	土 砂	0.815×10.0	8.2	1.8	1.5	m2

単位数量計算書

L = m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位

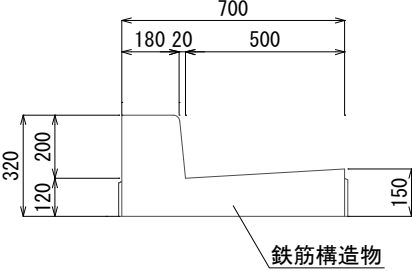
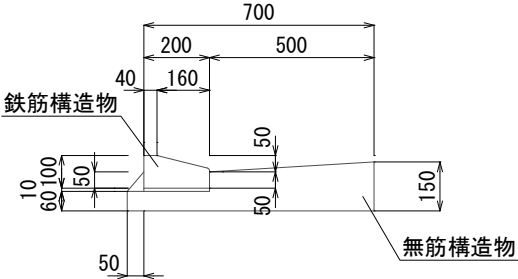
構造物撤去工集計表

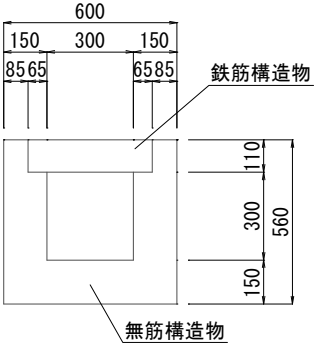
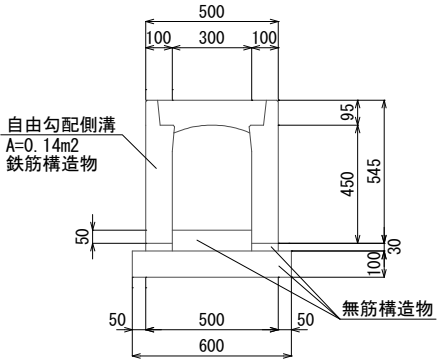
種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し	コンクリート取壊	無筋構造物	9. 9	9. 9	m3	Co構造物取壊内訳より
		鉄筋構造物	6. 6	6. 6	m3	Co構造物取壊内訳より
舗装版取壊し	アスファルト舗装取壊	t=3cm	27. 6+29. 1	56. 7	m2	撤去平面図
		t=4cm	307. 6	307. 6	m2	撤去平面図
		t=5cm	(26. 2+218. 7)+(243. 3+13. 8+25. 7)	527. 7	m2	撤去平面図
		t=10cm	313. 3+(485. 0+172. 0)+40. 3+22. 9	1033. 5	m2	撤去平面図
	コンクリート舗装取壊	t=10cm	51. 2+42. 2+8. 5	101. 9	m2	撤去平面図
	舗装版切断	As t=3cm	1. 7+(1. 9+2. 2)	5. 8	m	撤去平面図
		As t=5cm	9. 8+(25. 9+27. 5+15. 0)	78. 2	m	撤去平面図
		As t=10cm	(10. 0+3. 9+3. 6+5. 5)+(6. 5+4. 0+3. 9+5. 0)+6. 0	48. 4	m	撤去平面図
		Co t=10cm	(17. 2+15. 0)+1. 6	33. 8	m	撤去平面図
運搬処理工						
殻運搬処理	ダンプトラック運搬	Con殻(無筋)	9. 9	9. 9	m3	
		Con殻(鉄筋)	6. 6	6. 6	m3	
		Co殻(舗装版)	101. 9*0. 1	10. 2	m3	
		As殻	56. 7*0. 03+307. 6*0. 04+527. 7*0. 05+1033. 5*0. 1	143. 7	m3	
	トラック運搬	As切断汚水	0. 023*(5. 8*0. 03+78. 2*0. 05+48. 4*0. 1+33. 8*0. 1)*1. 4	0. 39	t	
殻処分計算	殻処分計算	Con殻(無筋)	9. 9+10. 2	20. 1	m3	

		Con殻(鉄筋)	6. 6	6. 6	m3	
		As殻	143. 7	143. 7	m3	
		As切断污水	0. 39	0. 39	t	
排水構造物撤去						
蓋板撤去	蓋板撤去	40kg以下/枚	1+1+1	3. 0	枚	撤去平面図
		40kg超170kg以下/枚	1	1. 0	枚	撤去平面図
付属物撤去						
車線分離標撤去	車線分離標撤去		4. 0	4. 0	箇所	撤去平面図

コンクリート構造物取壊内訳表

種別・細別	算式	数量	構造物取壊し工			摘 要
			コンクリート構造物取壊し			
			構造物とりこわし (m3)			
名 称	撤去平面図より		無筋 構造物	鉄筋 構造物	二次 製品	
プレキャスト街渠取壊	3.2	3.2 m		0.4		
1号街渠取壊	2.5+8.5+5.7	16.7 m	1.5	0.3		
1号側溝取壊	13.3	13.3 m	2.7	0.7		
2号側溝取壊	23.0	23.0 m	2.1	3.2		
3号側溝取壊	5.0	5.0 m	0.5	1.2		
4号側溝取壊	5.0+5.9	10.9 m	2.1			
1号管渠取壊	3	3.0 m		0.03		
2号管渠取壊	6.5	6.5 m		0.2		
1号集水桝取壊	1	1.0 箇所	0.2			
2号集水桝取壊	1	1.0 箇所	0.3			
3号集水桝取壊	1	1.0 箇所	0.5			
地先境界ブロック取壊	29.2	29.2 m		0.6		
合 計			9.9	6.6	0.0	

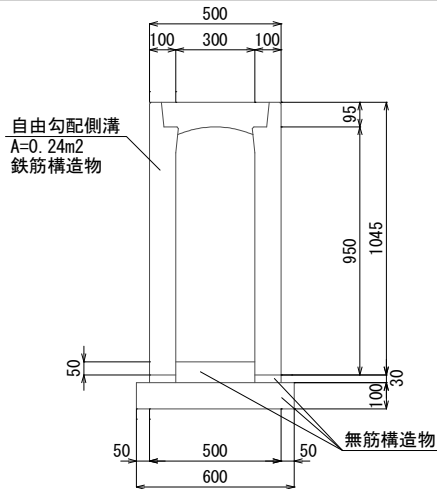
単位数量計算書		ﾌﾟﾚｷｽﾄ街渠取壊			L = 3.2 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	鉄筋	$((0.18+0.20)/2 \times 0.20 + 0.20 \times 0.12 + (0.12+0.15)/2 \times 0.50) \times 10.0$	1.3	3.2	0.4	m3
単位数量計算書		1号街渠取壊			L = 16.7 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.05 \times 0.06/2 + 0.20 \times 0.01 + (0.06+0.09)/2 \times 0.50 + 0.75 \times 0.06) \times 10.0$	0.9	16.7	1.5	m3
		鉄筋	$((0.04+0.20)/2 \times 0.04 + 0.20 \times 0.06) \times 10.0$	0.2	16.7	0.3	m3

単位数量計算書		1号側溝取壊			L = 13.3 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋構造物	$(0.60 \times 0.56 - 0.43 \times 0.11 - 0.30 \times 0.30) \times 10.0$	2.0	13.3	2.7	m3
		鉄筋構造物	$0.43 \times 0.11 \times 10.0$	0.5	13.3	0.7	m3
単位数量計算書		2号側溝取壊			L = 23.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.30 \times 0.08 + 0.10 \times 0.03 \times 2 + 0.60 \times 0.10) \times 10.0$	0.9	23.0	2.1	m3
		鉄筋	0.14×10.0	1.4	23.0	3.2	m3

単位数量計算書

3号側溝取壊

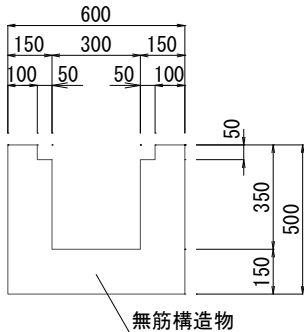
L = 5.0 m

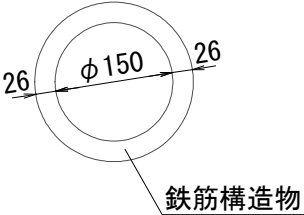
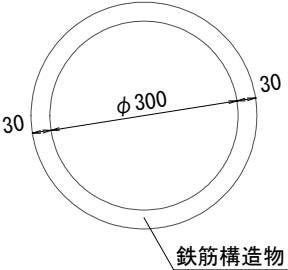
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.30 \times 0.08 + 0.10 \times 0.03 \times 2 + 0.60 \times 0.10) \times 10.0$	0.9	5.0	0.5	m3
		鉄筋	0.24×10.0	2.4	5.0	1.2	m3

単位数量計算書

4号側溝取壊

L = 10.9 m

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.60 \times 0.50 - 0.05 \times 0.05 \times 2 - 0.30 \times 0.35) \times 10.0$	1.9	10.9	2.1	m3

単位数量計算書		1号管渠取壊			L = 3.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	鉄筋	$(0.101 \times 0.101 \times \pi - 0.075 \times 0.075 \times \pi) \times 10.0$	0.1	3.0	0.03	m3
単位数量計算書		2号管渠取壊			L = 6.5 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	鉄筋	$(0.18 \times 0.18 \times \pi - 0.15 \times 0.15 \times \pi) \times 10.0$	0.3	6.5	0.2	m3

単位数量計算書

1号集水桝取壊

N = 1.0 箇所

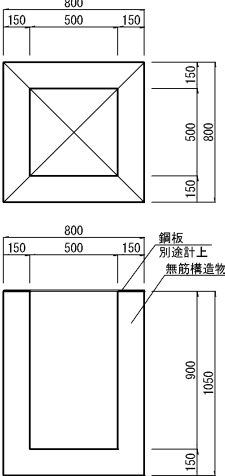
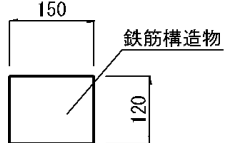
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.70 \times 0.60 \times 0.45 - 0.40 \times 0.30 \times 0.30) \times 10.0$	1.5	1.0	0.2	m ³

単位数量計算書

2号集水桝取壊

N = 1.0 箇所

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.70 \times 0.80 \times 0.60 - 0.40 \times 0.50 \times 0.45) \times 10.0$	2.5	1.0	0.3	m ³

単位数量計算書		3号集水桝取壊			N = 1.0 箇所		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	無筋	$(0.80 \times 0.80 \times 1.05 - 0.50 \times 0.50 \times 0.90) \times 10.0$	4.5	1.0	0.5	m3
単位数量計算書		地先境界ブロック取壊			L = 29.2 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10箇所当り)	延長・箇所	数 量	単位
	構造物取壊	鉄筋	$0.15 \times 0.12 \times 10.0$	0.2	29.2	0.6	m3

舗装工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
舗装準備工						
不陸整正	不陸整正	補充材有:粒度調整碎石 (M-30) t=3cm	126.7	126.7	m2	舗装計画図 取合舗装1
不陸整正	不陸整正	補充材無	466.6+188.1+471.2+178.2+25.1	1329.2	m2	舗装計画図 車道舗装B, E 歩道舗装
アスファルト舗装工(車道舗装B)						
下層路盤	路盤工 (車道)	再生切込碎石 (RC-40) t=40cm	466.6	466.6	m2	舗装計画図
上層路盤	路盤工 (車道)	粒度調整碎石 (M-30) t=10cm	466.6	466.6	m2	舗装計画図
基層	アスファルト舗装工(機械)	再生粗粒度As t=5cm	466.6	466.6	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	466.6	466.6	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(車道舗装E)						
上層路盤	路盤工 (車道)	粒度調整碎石 (M-30) t=10cm	147.9+19.7+20.5	188.1	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	188.1	188.1	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(取合舗装1)						
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=4cm	57.9+21.3+13.8+33.7	126.7	m2	舗装計画図
透水性舗装(歩道舗装A)						

舗装工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
フィルター層	フィルター層敷設工	砂 t=5cm	246.0+225.2	471.2	m2	舗装計画図
路盤工	路盤工（歩道）	再生切込碎石（RC-40） t=10cm	471.2	471.2	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工（機械）	開粒度As t=3cm	471.2	471.2	m2	舗装計画図
透水性舗装（歩道舗装B）						
フィルター層	フィルター層敷設工	砂 t=5cm	114.7+63.5	178.2	m2	舗装計画図
路盤工	路盤工（歩道）	再生切込碎石（RC-40） t=15cm	178.2	178.2	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工（機械）	開粒度As t=5cm	178.2	178.2	m2	舗装計画図
アスファルト舗装（歩道舗装C）						
路盤工	路盤工（歩道）	再生切込碎石（RC-40） t=15cm	25.1	25.1	m2	舗装計画図
基層	アスファルト舗装工（機械）	再生粗粒度As t=7cm	25.1	25.1	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工（機械）	再生細粒度As t=3cm	25.1	25.1	m2	舗装計画図

区画線・安全施設工 集計表

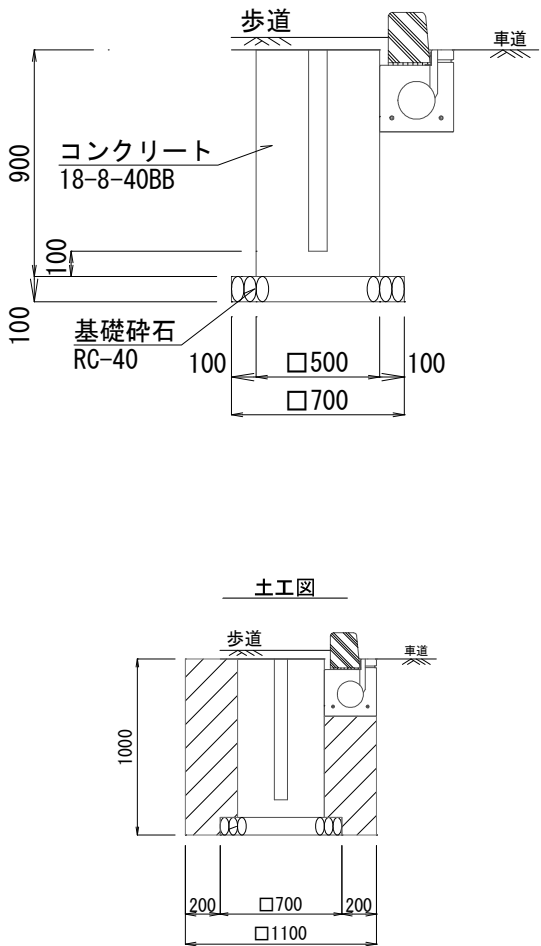
種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
防護柵工						
ガードパイプ	ガードパイプ設置	Gp-C-2B	2.7	2.7	m	安全施設計画図
転落(横断)防止柵	転落(横断)防止柵	H=1100 景観塗装(グレーベージュ)	1.7+21.9	23.6	m	安全施設計画図
立入防止柵	立入防止柵設置	H=900	34.3	34.3	m	安全施設計画図
小型標識工						
標識基礎	標識基礎設置	セミフラット部 H-1型	1.0	1.0	基	安全施設計画図
	標識基礎設置	路肩部 H-3型	1.0	1.0	基	安全施設計画図
標識柱	標識柱・基礎設置	セミフラット部 H-1型	1.0+1.0	2.0	基	安全施設計画図
	標識柱・基礎設置	マウントアップ部 H-2型	1.0	1.0	基	安全施設計画図
	標識柱・基礎設置	路肩部 H-3型	(1.0+1.0+1.0)+1.0	4.0	基	安全施設計画図
標識板	標識板設置		7.0	7.0	基	安全施設計画図
	標識板取外し		1.0	1.0	基	安全施設計画図
区画線工						
区画線工	区画線設置(熔融式)	未供用区間 実線 W=15cm	176.3+178.5+35.0	389.8	m	安全施設計画図 中心線、外側線
	区画線設置(熔融式)	供用区間 実線 W=15cm	51.8	51.8	m	安全施設計画図 外側線

区画線・安全施設工 集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
	区画線設置(溶融式)	未供用区間 破線 W=15cm	(15.5+60.0)+13.0	88.5	m	安全施設計画図 中心線、外側線
道路付属物工						
線形誘導標	線形誘導標	車両用防護柵B種・C種用	2.0	2.0	枚	安全施設計画図
車止めポスト	車止めポスト		8.0+8.0	16.0	基	安全施設計画図
車線分離標	車線分離標	H=800	1.0+2.0	3.0	基	安全施設計画図
道路鋸	道路鋸		(7.0+10.0+4.0+1.0)+(5.0+8.0+2.0+1.0)	38.0	個	安全施設計画図
誘導タイル設置工	誘導タイル		(6.0+18.0+3.6+3.6+3.6+3.6+3.6+4.8)+(10.8+3.6+3.6+3.6+3.6+4.8)	80.4	m	安全施設計画図
道路反射鏡						
道路反射鏡	道路反射鏡設置	タタリ板 2面鏡 φ 800	1.0	1.0	基	安全施設計画図
照明工						
照明灯設置工	照明灯設置	E-1型	1.0+1.0	2.0	基	安全施設計画図

安全施設工 作業土工集計

種別・細別	名 称	規 格	数 量						摘 要
			床掘 (m3)	埋戻 (m3)				基面整正 (m2)	
				W1 ≧ 4m	1m ≦ W1 < 4m	W1 < 1m			
標識基礎	標識基礎	セミフラット部 H-1型	1.1			0.8		0.5	
	標識基礎	路肩部 H-3型	1.2			1.0		0.5	
小型標識	小型標識	セミフラット部 H-1型	2.2			1.6		1.0	
	小型標識	マウントアップ部 H-2型	1.1			0.8		0.5	
	小型標識	路肩部 H-3型	4.8			4.0		2.0	
車止めポスト	車止めポスト		8.0			4.8		4.8	
道路反射鏡	道路反射鏡設置	マタリル板 2面鏡 φ800	1.1			0.9		0.5	
照明灯設置工	照明灯設置	E-1型	12.6		11.6			0.8	
合 計			32.1		11.6	13.9		10.6	
※数量は、単位数量計算書より									

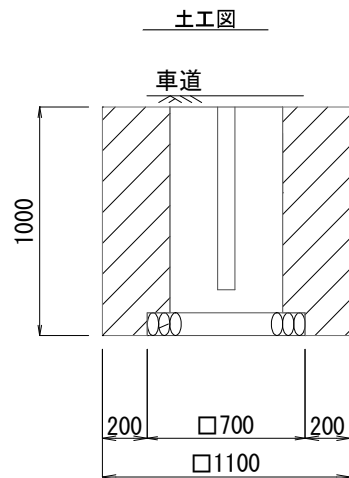
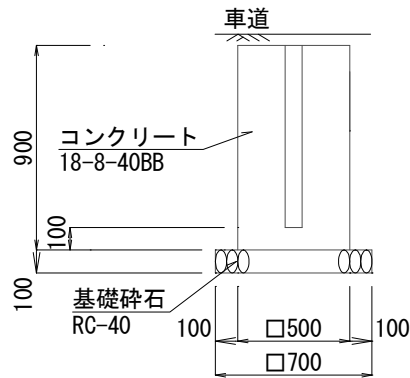
単位数量計算書		標識基礎《セミフラット部》			N = 1.0 基		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10基当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基礎碎石	RC-40 t=100	$0.70 \times 0.70 \times 10.0$	4.9	1.0	0.5	m2
	型枠	小型構造物	$0.50 \times 0.90 \times 4 \times 10.0$	18.0	1.0	1.8	m2
	コンクリート	18-8-40BB	$0.50 \times 0.50 \times 0.90 \times 10.0$	2.3	1.0	0.2	m3
	円形空洞型枠	φ 100	0.8×10.0	8.0	1.0	0.8	m
				(1基当り)			
	床掘	土 砂	$A=1.0\text{m}^2$ 1.0×1.1	1.1	1.0	1.1	m3
	埋戻	流用土	$A=0.5\text{m}^2$ $0.5 \times 1.1 + (0.9 \times 0.5 \times 0.3 + 0.1 \times 0.7 \times 0.2) \times 2$	0.8	1.0	0.8	m3
	基面整正	土 砂	0.70×0.70	0.5	1.0	0.5	m2

※ 標識の設置位置および形式については、施工時に協議を行う。

単位数量計算書

標識基礎《路肩部》

N = 1.0 基



※ 標識の設置位置および形式については、施工時に協議を行う。

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10基当り)	延長・箇所	数 量	単位
	基礎碎石	RC-40 t=100	$0.70 \times 0.70 \times 10.0$	4.9	1.0	0.5	m2
	型枠	小型構造物	$0.50 \times 0.90 \times 4 \times 10.0$	18.0	1.0	1.8	m2
	コンクリート	18-8-40BB	$0.50 \times 0.50 \times 0.90 \times 10.0$	2.3	1.0	0.2	m3
	円形空洞型枠	φ 100	0.8×10.0	8.0	1.0	0.8	m
				(1基当り)			
	床掘	土 砂	$A=1.1m^2$ 1.1×1.1	1.2	1.0	1.2	m3
	埋戻	流用土	$A=0.6m^2$ $0.6 \times 1.1 + (0.9 \times 0.5 \times 0.3 + 0.1 \times 0.7 \times 0.2) \times 2$	1.0	1.0	1.0	m3
	基面整正	土 砂	0.70×0.70	0.5	1.0	0.5	m2

単位数量計算書

小型標識《セミフラット部》

N = 2.0 基

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10基当り)	延長・箇所	数 量	単位
	標識柱	単柱 φ 76.3	1.0×10	10.0	2.0	2.0	本
	表示板	所属	1.0×10	10.0	2.0	2.0	枚
	表示板	設置年月日	1.0×10	10.0	2.0	2.0	枚
	標識板	アルミ板	1.0×10	10.0	2.0	2.0	枚
				(1基当り)			
	床掘	土 砂	A=1.0m2 1.0×1.1	1.1	2.0	2.2	m3
	埋戻	流用土	A=0.5m2 0.5×1.1+(0.9×0.5×0.3+0.1×0.7×0.2)×2	0.8	2.0	1.6	m3
	基面整正	土 砂	0.70×0.70	0.5	2.0	1.0	m2

N = 1.0 基

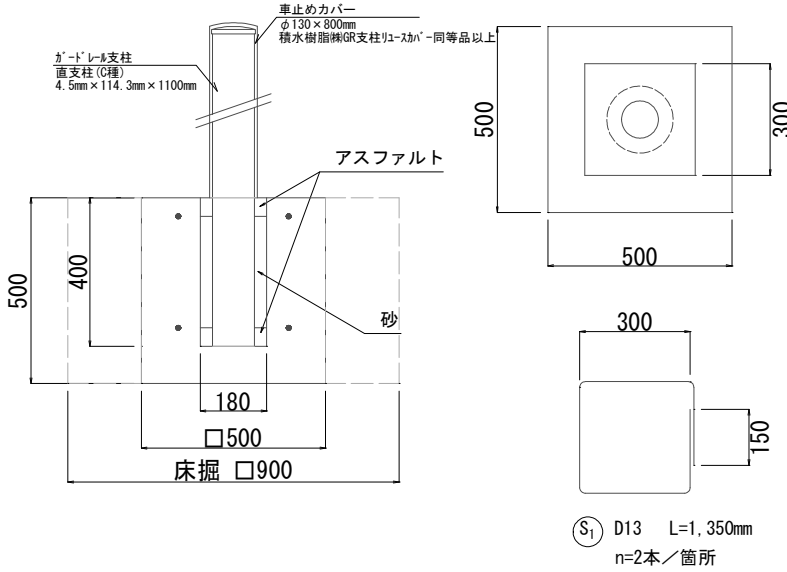
466/542

単位数量計算書

小型標識《路肩部》

N = 4.0 基

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10基当り)	延長・箇所	数 量	単位
	標識柱	単柱 φ 76.3	1.0×10	10.0	4.0	4.0	本
	表示板	所属	1.0×10	10.0	4.0	4.0	枚
	表示板	設置年月日	1.0×10	10.0	4.0	4.0	枚
	標識板	アルミ板	1.0×10	10.0	4.0	4.0	枚
	床掘	土 砂	A=1.1m ² 1.1×1.1	1.2	4.0	4.8	m ³
	埋戻	流用土	A=0.6m ² 0.6×1.1+(0.9×0.5×0.3+0.1×0.7×0.2)×2	1.0	4.0	4.0	m ³
	基面整正	土 砂	0.70×0.70	0.5	4.0	2.0	m ²

単位数量計算書		車止めポスト(ガード)		N = 16.0 基				
略 図		名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10基当り)	延長・箇所	数 量	単位
		ガードレール直支柱C種	4.5mm*114.3mm*1100mm	10.0	10.0	16.0	16.0	本
		車止めカバー	φ 130*850mm	10.0	10.0	16.0	16.0	個
		基礎		小型構造物図集 ガードレール基礎 (単独)				
		コンクリート	18-8-40BB	1.14	1.1	16.0	1.8	m3
		型枠	小型構造物	10.0	10.0	16.0	16.0	m2
		鉄筋	D13	27	27.0	16.0	43.2	kg
				</				

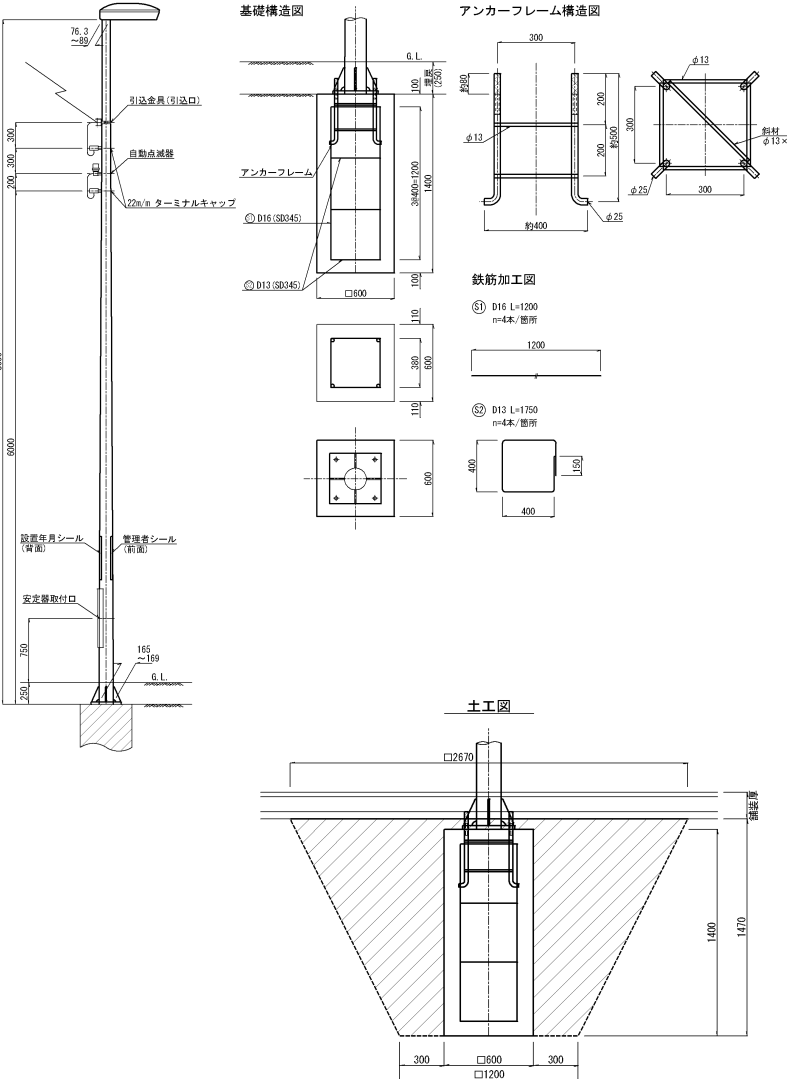
N = 1.0 基

469/542

単位数量計算書

照明灯設置《 E-1型 》

N = 2.0 基

略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (1基当り)	延長・箇所	数 量	単位
	照明灯基礎						
	コンクリート	18-8-40BB	小型構造物標準図集より 0.50	0.5	2.0	1.0	m3
	型枠	小型構造物	小型構造物標準図集より 3.4	3.4	2.0	6.8	m2
	鉄筋	D16 L=1200 SD345A	小型構造物標準図集より 8	8.0	2.0	16.0	kg
	鉄筋	D13 L=1750 SD345A	小型構造物標準図集より 7	7.0	2.0	14.0	kg
	アンカーボルト	4-φ25*500L ・300P	1	1.0	2.0	2.0	組
	クレスキャップ	M24/25用	4.0	4.0	2.0	8.0	個
	照明灯						
	LED照明灯	KCE090-2C	1	1.0	2.0	2.0	台
	ポール内ジョイントユニット	FMT68-15A	1	1.0	2.0	2.0	個
	自動点滅器	JISIP型 6A/200V ニップル式	1	1.0	2.0	2.0	個
	引込金具	コ型/メッキ仕上	1	1.0	2.0	2.0	個
	ターミナルキャップ	G22	1	1.0	2.0	2.0	個
	床掘	土 砂	$(2.67 \times 2.67 + 1.20 \times 1.20) \times 1/2 \times 1.47$	6.3	2.0	12.6	m3
	埋戻	流用土	$6.3 - 0.60 \times 0.60 \times 1.40$	5.8	2.0	11.6	m3
	基面整正	土 砂	0.60×0.60	0.4	2.0	0.8	m2

附帯工 土工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
附帯工事費						
道路土工						
路体盛土	流用土	2.5≦W<4.0	64.4	64.4	m3	数量計算書
作業土工						
床掘り	床掘	土砂(機械)	22.0	22.0	m3	附帯作業土工数量計算書
埋戻し	流用土	W<1.0	5.8	5.8	m3	附帯作業土工数量計算書
基面整正	基面整正	土砂	42.7	42.7	m2	附帯工 構造物作業土工集計表
不足土計算						
不足土量	不足土量		(64.4+5.8)/0.9-22.0-6.6-6.4	43.0	m3	本工発生土を流用 上下水分土工発生土を含む

(附帯工)

道路土工数量計算書

測 点	工種 距離	路体盛土			摘 要				摘 要				摘 要
		2.5≦W<4.0											
	断面積	平 均	立 積	断面積		平 均	立 積	断面積		平 均	立 積		
NO.1 +10.00	m 0.0	m2 1.7	m2 -	m3 -	No.2利用	m2	m2 -	m3 -		m2	m2 -	m3 -	
NO.2	10.0	1.7	1.70	17.0			-	-			-	-	
NO.2 +10.0	10.0	1.8	1.75	17.5			-	-			-	-	
NO.3	10.0	1.9	1.85	18.5			-	-			-	-	
NO.3 +6.00	6.0	1.9	1.90	11.4	No.3利用		-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
合 計	m 36.0			m3 64.4				m3 0.0				m3 0.0	

(附帯工)

作業土工数量計算書

測 点	工種 距離	床掘(右)			摘 要	埋戻(右)			摘 要				摘 要
		土砂				W1<1.0							
	断面積	平 均	立 積	断面積		平 均	立 積						
NO.1 +10.00	m 0.0	m2 0.4	m2 -	m3 -	No.2利用	m2 0.1	m2 -	m3 -	No.2利用	m2	m2 -	m3 -	
NO.2	10.0	0.4	0.40	4.0		0.1	0.10	1.0			-	-	
NO.2 +10.0	10.0	0.5	0.45	4.5		0.1	0.10	1.0			-	-	
NO.3	10.0	1.0	0.75	7.5		0.3	0.20	2.0			-	-	
NO.3 +6.00	6.0	1.0	1.00	6.0	No.3利用	0.3	0.30	1.8	No.3利用		-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
			-	-			-	-			-	-	
合 計	m 36.0			m3 22.0				m3 5.8				m3 0.0	

附帯工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
擁壁工						
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	1100×2000	10.0	10.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	1200×2000	6.0	6.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	1400×2000	6.0	6.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	1700×2000	6.0	6.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	1900×2000	4.0	4.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	2000×2000	2.0	2.0	m	計画平面図、構造図
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁	2200×2000	2.0	2.0	m	計画平面図、構造図
雑工						
スクリーン設置	スクリーン設置		1.0	1.0	箇所	計画平面図
舗装準備工						
不陸整正	不陸整正	補充材有:粒度調整碎石 (M-30) t=3cm	302.9	302.9	m2	舗装計画図 車道舗装A
不陸整正	不陸整正	補充材有:粒度調整碎石 (M-30) t=7.3cm	219.5	219.5	m2	舗装計画図 取合舗装2
不陸整正	不陸整正	補充材無	129.6+478.9+60.2+106.6+12.3	787.6	m2	舗装計画図 車道舗装B, C, E 歩道舗装
アスファルト舗装工(車道舗装A)						
基層	アスファルト舗装工(機械)	再生粗粒度As t=5cm	302.9	302.9	m2	舗装計画図

附帯工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	302.9	302.9	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(車道舗装B)						
下層路盤	路盤工(車道)	再生切込碎石(RC-40) t=40cm	129.6	129.6	m2	舗装計画図
上層路盤	路盤工(車道)	粒度調整碎石(M-30) t=10cm	129.6	129.6	m2	舗装計画図
基層	アスファルト舗装工(機械)	再生粗粒度As t=5cm	129.6	129.6	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	129.6	129.6	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(車道舗装C)						
下層路盤	路盤工(車道)	再生切込碎石(RC-40) t=20cm	478.9	478.9	m2	舗装計画図
上層路盤	路盤工(車道)	瀝青安定処理 t=10cm	478.9	478.9	m2	舗装計画図
基層	アスファルト舗装工(機械)	再生粗粒度As t=5cm	478.9	478.9	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	478.9	478.9	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(車道舗装D)						
下層路盤	路盤工(車道)	再生切込碎石(RC-40) t=12cm	185.7	185.7	m2	舗装計画図
上層路盤	路盤工(車道)	瀝青安定処理 t=10cm	185.7	185.7	m2	舗装計画図
基層	アスファルト舗装工(機械)	再生粗粒度As t=5cm	185.7	185.7	m2	舗装計画図

附帯工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	185.7	185.7	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(車道舗装E)						
上層路盤	路盤工(車道)	粒度調整碎石(M-30) t=10cm	60.2	60.2	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=5cm	60.2	60.2	m2	舗装計画図
アスファルト舗装工(取合舗装2)						
表層	アスファルト舗装工(機械)	再生密粒度As t=4cm	219.5	219.5	m2	舗装計画図
透水性舗装(歩道舗装A)						
フィルター層	フィルター層敷設工	砂 t=5cm	50.8+55.8	106.6	m2	舗装計画図
路盤工	路盤工(歩道)	再生切込碎石(RC-40) t=10cm	106.6	106.6	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	開粒度As t=3cm	106.6	106.6	m2	舗装計画図
透水性舗装(歩道舗装B)						
フィルター層	フィルター層敷設工	砂 t=5cm	12.3	12.3	m2	舗装計画図
路盤工	路盤工(歩道)	再生切込碎石(RC-40) t=15cm	12.3	12.3	m2	舗装計画図
表層	アスファルト舗装工(機械)	開粒度As t=5cm	12.3	12.3	m2	舗装計画図

附帯工集計表

種 別・細 別	名 称	規 格	算 式	数 量	単位	備 考
区画線工						
区画線工	区画線設置(熔融式)	供用区間 実線 W=15cm	227. 2+226. 8+223. 6	677. 6	m	安全施設計画図 外側線、中心線
	区画線設置(熔融式)	供用区間 破線 W=15cm	45. 0	45. 0	m	安全施設計画図 中心線
	区画線設置(熔融式)	供用区間 実線 W=20cm	20. 2	20. 2	m	安全施設計画図 中心線
	区画線設置(熔融式)	未供用区間 セブアラ W=45cm	3. 0+43. 4	46. 4	m	安全施設計画図 停止線、横断歩道
	区画線設置(熔融式)	供用区間 セブアラ W=45cm	3. 0+3. 0+39. 4+42. 2	87. 6	m	安全施設計画図 停止線、横断歩道、セブアラ
	区画線設置(熔融式)	未供用区間 矢印・記号・文字 W=15cm換算	20. 1	20. 1	m	安全施設計画図 文字(止まれ)
	区画線設置(熔融式)	供用区間 矢印・記号・文字 W=15cm換算	20. 1+33. 0+33. 0	86. 1	m	安全施設計画図 文字(止まれ)
区画線消去	区画線消去	W=15cm換算	96. 0+12. 0+33. 0	141. 0	m	安全施設計画図 横断歩道、停止線、記号
雑工						
雑工	支障上水道管移設		1. 0	1. 0	式	支障上水道管移設計画図
	支障下水道管移設		1. 0	1. 0	式	支障下水道管移設計画図

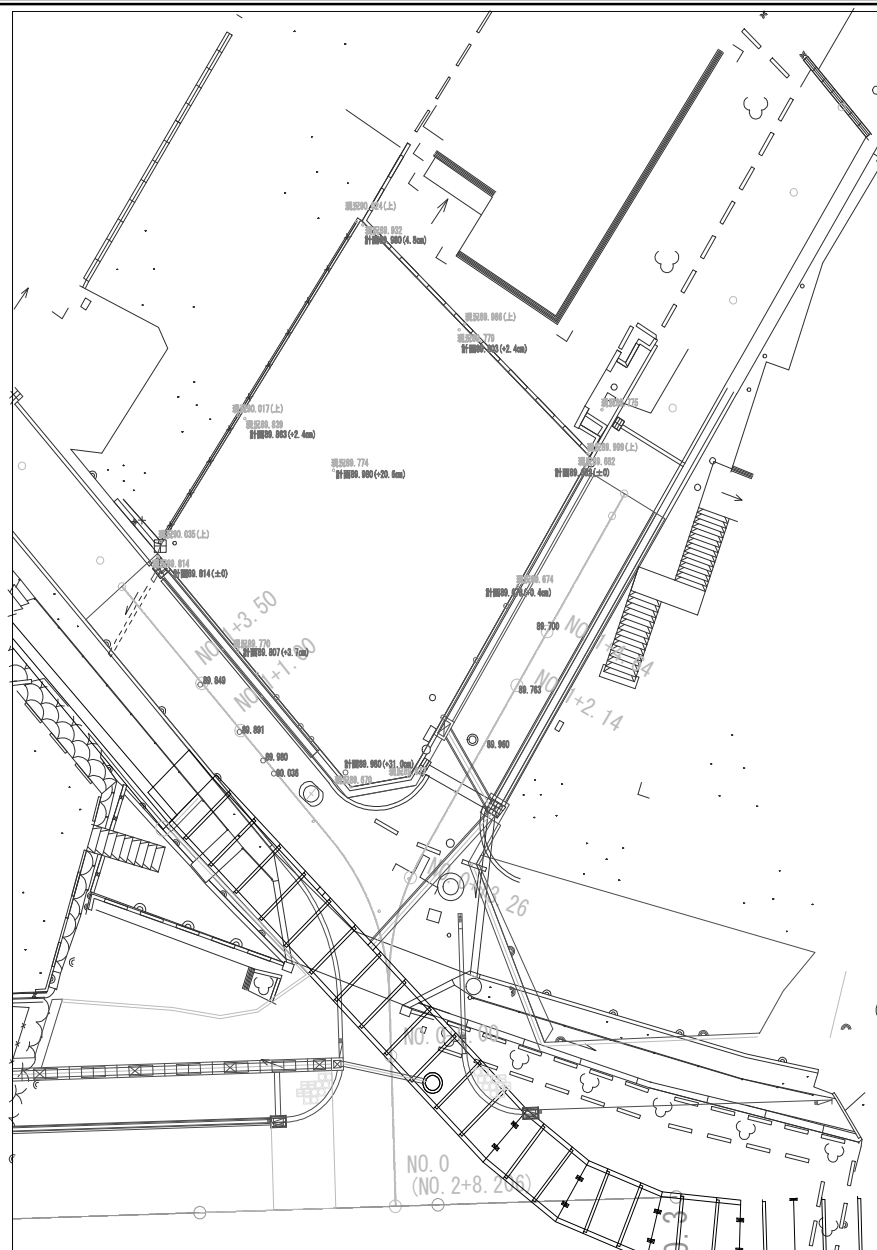
附帯工
 構造物作業土工集計表

種別・細別	名 称	規 格	数 量						摘 要	
			掘削 (m3)	盛土 (m3)		床堀 (m3)	埋戻 (m3)			基面整正 (m2)
				W<2.5	2.5≤W<4.0		W<1.0	1.0≤W<4.0		
擁壁工										
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	1100×2000							9.0	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	1200×2000							5.7	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	1400×2000							6.6	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	1700×2000							7.8	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	1900×2000							6.6	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	2000×2000							3.3	
ブ レキャスト逆L擁壁	ブ レキャスト逆L擁壁	2200×2000							3.7	

単位数量計算書		フレキャスト逆L擁壁 《 1100×2000 》			L = 10.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	裏込碎石	RC-40	0.038×10.0	0.4	10.0	0.4	m ³
	止水コンクリート	18-12-20BB	0.018×10.0	0.2	10.0	0.2	m ³
	基面整正	土 砂	0.90×10.0	9.0	10.0	9.0	m ²
単位数量計算書		フレキャスト逆L擁壁 《 1200×2000 》			L = 6.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	裏込碎石	RC-40	0.068×10.0	0.7	6.0	0.4	m ³
	止水コンクリート	18-12-20BB	0.018×10.0	0.2	6.0	0.1	m ³
	基面整正	土 砂	0.95×10.0	9.5	6.0	5.7	m ²

単位数量計算書		ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁 《 1900×2000 》			L = 4.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	裏込碎石	RC-40	0.244×10.0	2.4	4.0	1.0	m ³
	止水コンクリート	18-12-20BB	0.018×10.0	0.2	4.0	0.1	m ³
	基面整正	土 砂	1.65×10.0	16.5	4.0	6.6	m ²
単位数量計算書		ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄ逆L擁壁 《 2000×2000 》			L = 2.0 m		
略 図	名 称	細 別	計 算 ・ 式	単位数量 (10m当り)	延長・箇所	数 量	単位
	裏込碎石	RC-40	0.274×10.0	2.7	2.0	0.5	m ³
	止水コンクリート	18-12-20BB	0.018×10.0	0.2	2.0	0.0	m ³
	基面整正	土 砂	1.65×10.0	16.5	2.0	3.3	m ²

取合舗装2 参考平面図



不陸整正補充材平均厚

$$(0.0+3.7+31.0+2.4+20.6+0.4+4.8+2.4+0.0)/9 = 7.3 \text{ cm}$$

[illegible]

管材費（給水工）											
数 量 表											
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要
【管材費】 給水工											
HIVP TS 直管	φ 30×4000L		本	2.0m→1本					1	1	
HIVP TS ソケット	φ 30		個						2	2	
HIVP TS エルボ°	φ 30		個						4	4	
HIVP TS 直管	φ 25×4000L		本	2.0m→1本					1	1	
HIVP TS ソケット	φ 25		個						2	2	
HIVP TS エルボ°	φ 25		個						4	4	
HIVP TS 直管	φ 20×4000L		本	2.0m→1本					1	1	
HIVP TS ソケット	φ 20		個						2	2	
HIVP TS エルボ°	φ 20		個						4	4	

切 管 調 書

φ 75 mm

管 種		HIVP RR	残 管	切断数	備 考
1	番号 延長	① ① 0.5 ▼ 0.5 ▼	4.000	2	
2	番号 延長	② 4.9 ▼	0.100	1	
3	番号 延長	③ 0.5 ▼	4.500	1	
4	番号 延長	④ 0.5 ▼	4.500	1	
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				

管 種			残 管	切断数	備 考
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
	番号 延長				
4 本		L= 6.900	13.100	5	

労務費												
数 量 表												
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要	
【労務費】												
硬質塩化ビニル管据付	φ 75		m						45.8	45.8		
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 75		口	切管表より5口+新設管接続部2口						7	7	
硬質塩化ビニル管撤去切断工	既設管 φ 75		口						2	2		
硬質塩化ビニル管RR継手工	離脱防止金具使用する φ 75		口						16	16		
硬質塩化ビニル管RR継手工	離脱防止金具使用しない φ 75		口						3	3		
硬質塩化ビニル管 メカニカル継手工	φ 75		口						4	4	硬質塩化ビニル管RR 継手工 φ 75歩掛準用	
管明示テープ工	天端明示のみ		m						45.8	45.8		
管明示シート工			m						45.8	45.8		

労務費												
数 量 表												
名 称		形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要
【労務費】給水工												
硬質塩化ビニル管据付	φ 30			m						2.0	2.0	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 30			口						5	5	
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ 30			口						12	12	
硬質塩化ビニル管据付	φ 25			m						2.0	2.0	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 25			口						5	5	
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ 25			口						12	12	
硬質塩化ビニル管据付	φ 20			m						2.0	2.0	
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 20			口						5	5	
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ 20			口						12	12	

[illegible]

管路土工

土 工 数 量 計 算 表

			土工① φ 75		土工② φ 75								計 合計		備 考
延 長			42. 2m		2. 0m										
掘削積込工	土砂	m3	0. 396	16. 71	0. 564	1. 13							17. 84		
埋戻工	流用土	m3	0. 222	9. 37	0. 390	0. 78							10. 15		
	スクリーニングス	m3	0. 168	7. 09	0. 168	0. 34							7. 43		
残土計算		m3	0. 149	6. 29	0. 131	0. 26							6. 55		
		m3													
		m3													
		m3													
		m3													
		m2													
		m2													
		m2													
		m2													

土工断面①

掘削幅 B= 0.600

[illegible]

土工単位数量計算書			土工断面②		
φ 75 mm 外径 φ 90 mm 控除 0.006 m²					
As 舗装 0.05 H= 1.09 1.04 掘削幅 B= 0.600 機械掘削 埋戻発生土 スクリーニングス 密粒度As 粒調碎石 0.05 0.10 0.65 0.10 0.09 0.10 0.90 0.19 φ 75 mm					
工 種	形状寸法	計 算 式	単位	m当り数量	
機械掘削工	機械	0.600 × (1.040 - 0.100)	m ³	0.564	
埋戻工	発生土	0.600 × 0.650	m ³	0.390	
埋戻工	スクリーニングス	0.600 × 0.290 - 0.006	m ³	0.168	
残土処分工	土砂	0.564 - 0.390 / 0.900	m ³	0.131	

数量集計表										No.1
名 称	形状・寸法	単 位	計算式					合 計	摘 要	
附帯工										
管渠工										
管路土工										
床掘り	小規模	m ³					=21.7	20		
埋戻工	流用土	m ³					=13.8	10		
残土計算		m ³	21.7	-	13.8/0.9		=6.4	6.4		
管布設工										
硬質塩化ビニル管布設工	VU φ 150	m	19.47				=19.5	19		
下水道管標識シート	150×50 2倍	m	19.47				=19.5	19		
VU管切断工	φ 150 既設	口					=1.0	1		
管基礎工										
砂基礎設置	スクリーニングス	m ³					=5.3	5		
マンホール工										
小型マンホール工										
小型マンホール	宍粟市デザイン φ 300 T-14 起点および中間形式 H≦2.0m	箇所					=2.0	2		
接着受口カバー	φ 150	個					=1.0	1		

土工数量集計表

	施工区分	管渠延長	掘削			路盤掘削・処分		埋戻		素掘	土 留 工 (m)								塩ビ管			管布設工	基礎工	基面整正 W
	区間距離		土留あり	土留なし			RM	RC	土留あり		土留なし	アルミ矢板建込				掘削深				ゴム輪 受口管 直	ブレン エンド 直管			
	m	m3			m3							m3	m3	m3	m3	m3	H=1.5	H=2.0	H=2.5					
本管布設	19.47	19.00		15.576					9.813	19.47									4	3.00		VU150 19.00	5.321	
取付管①	2.75			2.420					1.670	2.75									1			(2.16)	(0.75)	
取付管②	5.09			3.660					2.270	5.09									1	0.50		(4.50)	(1.39)	
/																								
/																								
/																								
/																								
/																								
/																								
/																								
/																								
合計	27.31	19.00		21.656					13.75	27.31									6	3.50		19.00	5.321	

小型マンホール工数量表 「塩ビ製（曲点・合流点）」

路線番号	人 孔 番 号	人 孔 深 m	掘 削 深 m	流入管 mm	流出管 mm	工 種	形状寸法	算 式	数 量	単位
1	M.1	1.039	1.090	VUφ150	VUφ150	箇所数			2	箇所
1	M.2	0.856	0.910	VUφ150	VUφ150	平均マンホール深		1.895 ÷ 2	0.948	m
						人孔据付工	H≤2.0m		2	箇所
							2.0m<H≤3.5m			箇所
						立 管	プレーンエンド直管 φ300 L=4.00m	1.135 ÷ 4	0.3	本
計	2	1.895								

塩ビ人孔（曲点・合流インバート）計算表

[illegible]

管路情報

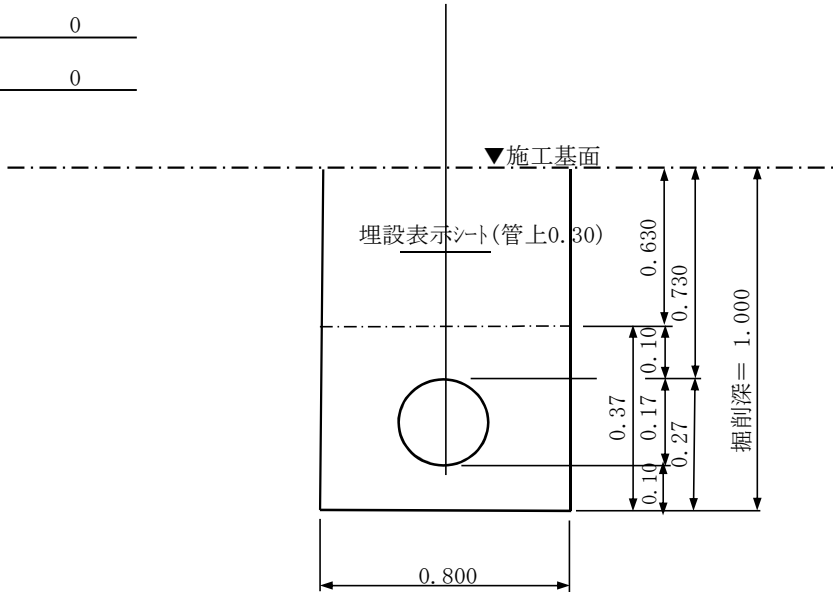
	(VU φ 150)														
	路線番号	区間距離	人孔番号	掘削深 1	人孔番号	掘削深 2	管体延長	土留控除	土留延長	平均掘削深	管種	管径	掘削幅	舗装種別	施工区分
1	1	19.47	M.1 塩ビ	1.090	M.2 塩ビ	0.910	19.00			1.000	VU	150	0.800		昼間
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															

まず撤去工										
名 称		形状・寸法	単 位	計算式					合 計	摘 要
VU管切断工		φ 150 既設	口					=1.0	1	
VUキャップ		φ 150	個					=1.0	1	

本管土量計算書 (VU ϕ 150)

區間距離	19.47	管體延長	19.00	基礎延長	19.470 m
------	-------	------	-------	------	----------

人孔番号	人孔外径
M. 1	0
M. 2	0



工 種	算 式	単位	数 量
機械掘削	$V = 0.800 \times 1.000 \times 19.47$	m ³	15.576
発生土埋戻	$V = 0.800 \times 0.63 \times 19.47$	m ³	9.813
スクリーニング基礎	$V = 0.800 \times 0.37 \times 19.47 - 0.442$	m ³	5.321
管体控除	$V = \pi/4 \times 0.17^2 \times 19.47$	m ³	0.442

取付管①土工計算書

[illegible]

取付管②土工計算書

[illegible]

特記仕様書

工 事 名 市道山田下広瀬線道路改良工事

工事場所 宍粟市山崎町山田地内

工 期 令和8年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶(報告)すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第4条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. （工法変更等への対応）
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
施工箇所の起終点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分に当たっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊 (無筋)	(株)がき	1.6 km	宍粟市山崎町 千本屋字女薮 291-1 他2筆	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による
コンクリート塊 (有筋)	(株)がき	1.6 km	宍粟市山崎町 千本屋字女薮 291-1 他2筆		
アスファルト塊	(株)がき	1.6 km	宍粟市山崎町 千本屋字女薮 291-1 他2筆		

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

5. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

6. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。

7. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。
8. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成 15 年 3 月 17 日兵庫県条例第 23 号）第 16 条の 3 に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。（工作物等解体工事は請負代金 500 万円以上、建築物解体工事は延床面積 80 m²以上）

第 8 条 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

1. 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

工法 区分	濁水が生じる工法（湿式）	濁水が生じない工法（空冷式等）
排出形態	濁水	粉体
産業廃棄物の分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥＋廃アルカリ混合物」 ※乾燥させた場合も同様	「がれき類」 ※政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと

2. 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法（湿式）を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥＋廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

＜収集方法（例）＞

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械（バキューム式）による収集
- ・工業用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5 以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

3. 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法（空冷式等）を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

4. 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。①濁水量は実施数量（マニフェストで確認）に応じて設計変更を行う。

- ① 濁水量 0.39 t
- ② 運搬費 普通トラック（2 t）運搬

③ 処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」 (泥水)	(株)赤穂サイクルセンター	46.4 km	兵庫県赤穂市 加里屋 1250-1	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設もしくは産業廃棄物処分場としての許可を有する施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設の抹消などにより受入困難となった場合や、受注者が選定した施設が県登録施設または上表の施設以外の施設で、処理費が当初設計より安価となる場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第9条 建設発生土及び採取土

1. 建設発生土を県登録施設へ搬出する場合

(建設発生土の搬出先)

建設発生土の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
建設発生土	(株)清名	3.3 km	宍粟市山崎町 中比地 547	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

2. 処分地における押土等処理方法は監督員の指示を得ること。

検収方法としては、受注者は伝票または出来形展開図(処分前、処分中、処分後の写真を含む)を提出すること。

3. 土質調査の結果等により流用が不可能と考えられる場合は、監督員と協議の上、適正に処分を行うものとする。

第10条 支障物件内容及び地下埋設物件の事故防止

1. 本工事区間の支障物件は下表のとおりである。受注者は各管理者と連絡を十分に行い、施工すること。

支 障 物 件	管 理 者	管理者との協議	移 設 時 期
上下水道管	宍粟市上下水道課	事前協議済、施工前立会	要調整
電柱	関西電力(株)	事前協議済、施工前立会	要調整

2. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。保安対策の打合せを行ったときは、「立会打合せ調書」に立会者の押印を求め、当該調書の写を監督員に提出するものとする。

3. 請負人の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、請負人の負担によりこれを補修しなければならない。

4. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果死管の処置を請負人が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかななければならない。

第11条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 天候や地域住民対応等で土曜・日曜の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得する等、週休2日に努めること。（但し、工事成績評価の加点等については、土曜・日曜の現場閉所に限定して評価するが、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。）
3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕の原則土曜・日曜の現場閉所（以下「現場閉所」という。）の達成状況（平日振替日を含む）に応じて工事成績の評価を行う。
4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。
5. 労務費等の補正については、当初予定価格に4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が4週8休に満たないものは、現場閉所の達成状況に応じて請負代金額のうち補正分を、減額変更する。
6. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し、小数点以下を四捨五入する。

※悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。

＜労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正＞

一般公共（港湾工事4工種除く）の場合

補正係数	補正係数
	4週8休以上達成の場合
	土日現場閉所
労務費	1.04
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費率	1.03
現場管理費率	1.05

第12条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンチナ・フィロセロデス（ナグヰツノゲイトウ）、ヒステア・ストテオテス（ホタンゲキ）、アゾラ・クリスタ、コレオプシス・ラングタ（オキクダ）、ギョムコロニス・スピラントデス（ミズヒマリ）、ルドベキア・ラキアタ（オハコソウ）、セネオ・マダガスカルシス（サトサキ）、スイギョウ・アングラクス（アチリ）、ミリオフォルム・アクアティム（オアサモ）、ルドウイギア・グランドイフ（オハナミズキンバイ等）、ウェロニカ・アガリスアティカ（オカザシヤ）、の植物11種

（詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> を参照）

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。
3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第13条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第14条 施工管理

- 5. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
- 6. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
- 7. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
- 8. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第15条 写真管理

- 1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
- 2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
- 3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第16条 品質規格

- 1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
- 2. （コンクリート管理）
 - ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。（請負必携 21 参照）
 - ② コンクリートの強度管理については、標準養生で行うこととする。但し、脱型に係る強度確認は現場空中養生にて行うこと。
 - ③ 鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを構造物の側面については原則 1 m²につき 2 個以上、構造物の底面については原則 1 m²につき 4 個以上設置する。
- 3. （再生切込砕石）
 - ① 本工事に使用する砕石は、再生切込砕石（0～30、0～40 mm）とする。
なお、生産業者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は監督員と協議し、その指示に従うこと。
 - ② 下層路盤材・土木構造物の基礎砕石及び裏込砕石に使用する材料は、下記の品質規格を満足するものとし、受注者は施工にあたって事前に使用する再生切込砕石生産者及び最近の試験結果を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。
また、アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比 60%以下とする。ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを 30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。
なお、生産者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議のうえ、新材切込砕石に変更することとし、設計変更の対象とする。
再生切込砕石の品質基準は以下の通りとする。

修正CBR（%）	PI（塑性指数）	すりへり減量	粒 度
30以上	6以下	50%以下	再生切込砕石の粒度範囲に入ること

- 4. （セメントコンクリート製品）
 - ① 本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。なお、「小型構造物標準図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。
 - ② 品質確認は、「セメントコンクリート二次製品の取組要領」（兵庫県県土整備部）〔平成27年1月〕に基づき実施する。

5. (コンクリート二次製品)

- ① 本工事において、下記の製品を使用する場合には「下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品使用促進要領」(以下「要領」という。))に基づき認定された下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品(以下「認定製品」という。))の使用を原則とする。

なお、認定製品が調達できない等、やむを得ない場合については、通常のコンクリート二次製品の使用を認めることとするが、事前に発注者の了解を得るものとする。ただし、設計変更の対象としない。

○対象とする製品

I. 境界ブロック (JISA5371 : 推奨仕様B-2)

イ : 片面歩車道境界ブロック、ロ : 両面歩車道境界ブロック (兵庫県型駒止ブロック)、
ハ : 地先境界ブロック

II. U型側溝 1 種 (トラフ) (JISA5372 : 推奨仕様E-1)

III. 上ぶた式U型側溝 (JISA5372 : 推奨仕様E-2)

イ : 1 種 (トラフ)、ロ : 2 種 (トラフ)、ハ : 1 種 (蓋)、ニ : 2 種 (蓋)

IV. 落ちぶた式U型側溝 (JISA5372 : 推奨仕様E-3)

イ : 1 種 (JIS 側溝)、ロ : 3 種 (JIS 側溝)、ハ : 1 種 (蓋)、ニ : 3 種 (蓋)

V. プレキャストU型側溝

イ : PU100 型 (要領 別図 1-1)、ロ : PU200 型 (要領 別図 1-2)、

ハ : 側溝蓋 (NC2 系) (要領 別図 1-3)

VI プレキャスト街渠

イ : PG (F) 型 (要領 別図 1-4)、ロ : PGU (F) 型 (要領 別図 1-5)

- ② 受注者は、認定製品の使用にあたっては、要領第 10 条第 1 項に基づき兵庫県土木部長 (県土整備部長) が発行した認定書を工事用材料使用承諾願に含め監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

- ③ 認定製品は、JIS 認証製品と同等の取り扱いとするため、受注者は、土木工事共通仕様書によるほかセメントコンクリート二次製品取扱要領に基づき品質確認等 (材料承諾を含む) を行うものとする。

- ④ 受注者は、現地納品された製品について、要領第 12 条第 1 項によるスラグマークの表示を確認するものとする。

6. (瀝青材料)

- ① 本工事における再生密粒度アスファルト混合物 (TOP13) は下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物 (以下「下水汚泥スラグアスファルト混合物」という。))の使用を原則とする。

ただし、材料の調達が困難な場合は通常の再生密粒度アスファルト混合物の使用を妨げない。

なお、この場合、事前に監督員の了解を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。

- ② 下水汚泥スラグアスファルト混合物における材料の試験成績表や品質証明書の提出、配合設計及び試験練り等については、土木工事共通仕様書によるものとする。

- ③ 下水汚泥溶融スラグ及び下水汚泥スラグアスファルト混合物の品質管理は「下水汚泥溶融スラグの品質基準」、「下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物の品質基準」を満たすものとする。

- ④ 下水汚泥スラグアスファルト混合物には揖保川浄化センター (兵庫西流域下水汚泥広域処理場) で製造された溶融スラグを使用するものとする。

- ⑤ 受注者は、アスファルト混合物事前審査委員会の事前審査で認定した加熱アスファルト混合物を使用する場合は、事前に認定書 (認定書、混合物総括表) の写しを監督員に提出できるものとする。この場合、「土木工事共通仕様書」によらず、アスファルト混合物及び混合物の材料に関する品質証明書・試験成績表の提出及び配合設計・試験練りを省略することができる。

- ⑥ 事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」は以下のとおりとする。

工 種	種 別	試験区分	試 験 項 目	試 験 基 準
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材	必 須	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	事前審査による認定書の提出
	料	その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	

	プ ラ ン ト	必 須	配合試験	
			混合物のアスファルト量抽出	土木施工管理基準「品質管理基準」に基づきプラントの自主管理による（注1）
			混合物の粒度分析試験	
			温度測定（混合物）	
			基準密度の決定	事前審査による認定書の提出

（注1） 監督員の指示があった場合は、試験結果一覧表を提出するものとする。

第17条 一般施工

1. （準備工）

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

2. （掘削工）

① 受注者は、掘削中に設計図書に記載のない場所で土質の変化が現れた場合、写真等で記録を撮ると同時に監督員と協議するものとする。また、完成図書として土質変化地点を記載した図面等を提出するものとする。

② 受注者は掘削の施工中において、地山の挙動を監視しなければならない。なお、自然崩壊・地すべり等が生じた場合、あるいは生ずる恐れがある場合は処置方法を監督員と協議しなければならない。緊急やむを得ない場合は応急措置をとった後、監督員に報告しなければならない。

3. （盛土工）

盛土を施工する際、盛土の締固め基準が確保できないような不良地盤が現れたときは、処理方法について監督員と協議しなければならない。

4. （とりこわし工）

コンクリート構造物及びアスファルト舗装版を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

5. （現場打擁壁工）

① 現場打擁壁工（構造物単位）の小型擁壁、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁の数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量であり、型枠、足場、コンクリート関係の費用を含んでいる。

② 雑工種として、基礎碎石、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出防止材（点在）を計上しているが、現地の状況により不要となる場合及び擁壁本体コンクリート数量に変更がある場合以外は、数量の変更が生じても原則として変更の対象としない。なお、雑工種の出来形及び品質管理については、仕様書及び図面に基づき適切に実施すること。

③ 背面排水について、水抜パイプは道路・その他の場合、VPφ75とし、河川・砂防の場合はVUφ75とする。もたれ式擁壁は2㎡に1箇所程度、その他型式の擁壁は前面に容易に排水できる高さの範囲内において5m以内の間隔で設置する。また、重力式等小型擁壁（2m以下）は水抜孔の位置に30cm×30cm（t=5cm）の透水マットを、その他の擁壁は縦横方向の透水マットを設置することを原則とする。

④ 伸縮目地について、無筋コンクリート構造は10m間隔（t=10mm）、鉄筋コンクリート構造は20m間隔（t=20mm）を標準とする。

6. （街渠工）

一般部と乗入部があるが、施工に先立ち隣接する地権者と立会を行い、乗入部施工位置を確認し、監督員の了解を得てから施工するものとする。

7. （舗装打換工）

① 横断測測の間隔は20mとする。

② 交通開放する場合、施工に伴う段差は交通に支障のないよう縦断・横断方向4%以下の勾配ですりつけ舗装を施工し、危険防止と交通安全を計らなければならない。

③ 区画線設置は、表層完了後すみやかに施工しなければならない。

なお、本区画線設置までの期間については、監督員と協議し仮区画線を設置し、交通の安全を計らなければならない。

第18条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。（設計変更に使用できる図面と数量を提出すること。）

第19条 工事標示板等

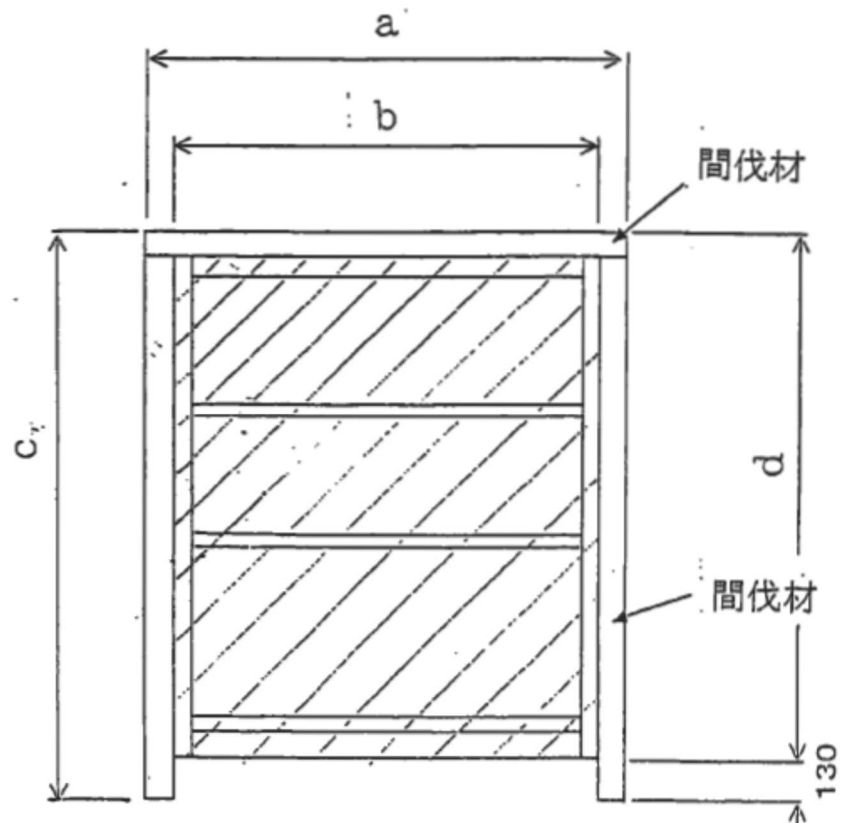
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。（看板①）
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第20条 その他施工関係

1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 当該工事によりマンホール等の高さ調整の必要が生じた場合は、起工測量に基づき調整箇所数及び調整高を監督員へ報告し、監督員及び占用者の了承を得た後、受注者の責任において高さ調整（撤去・設置・資材調達）等を行うこととする。これに要する費用について、基本的には占用者が負担するものとする。
9. 主要地方道宍粟下徳久線の施工について、兵庫県と具体的な施工時期・交通規制の方法等事前に協議しておく必要があるため、施工前に余裕をもって監督員にその内容を報告・協議すること。
10. グレーチング等市で再利用するものは、市により搬出することとするため監督員の指示に従うこと。
11. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

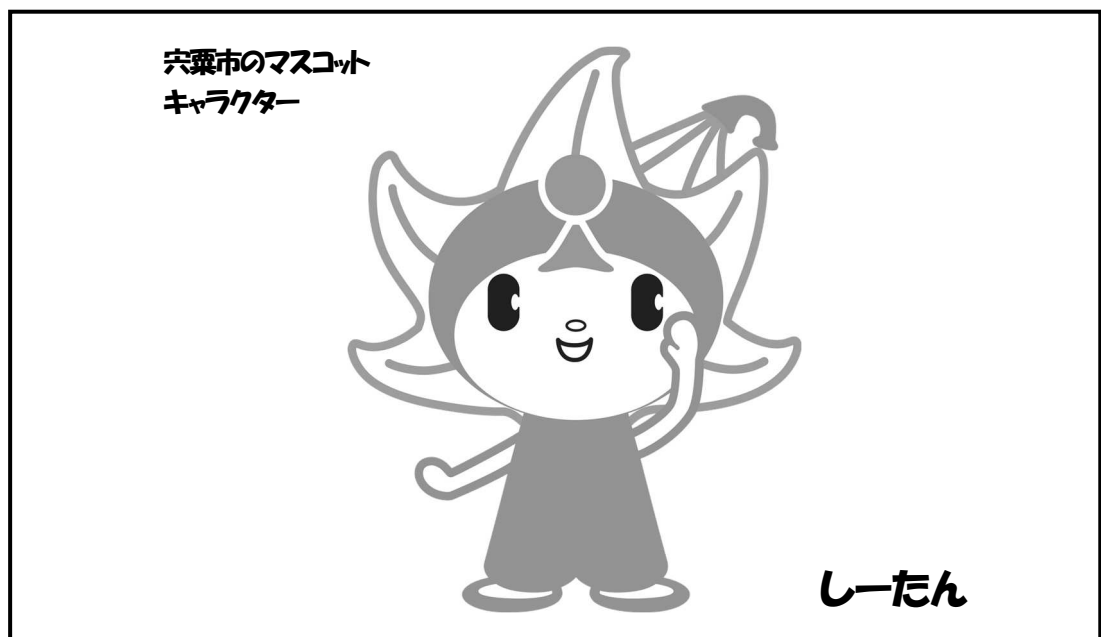
工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

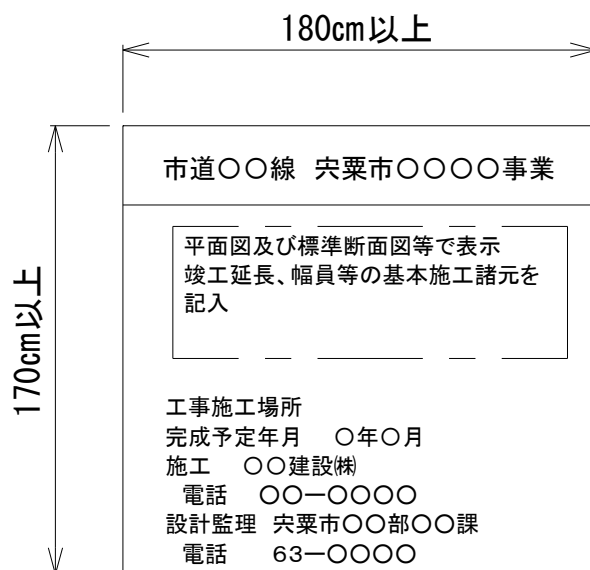


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

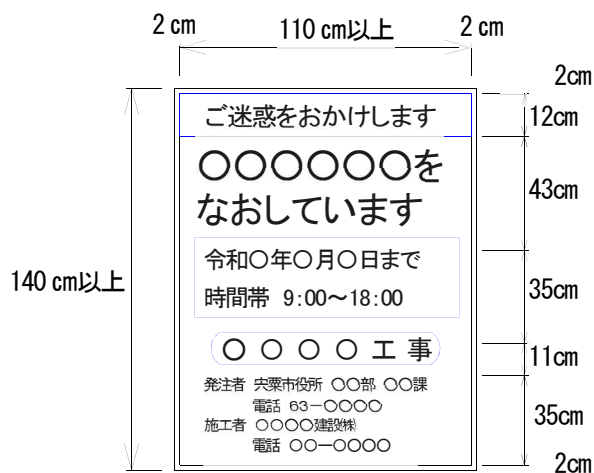
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

＜工事標示板を明記する工事看板例＞



- (注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休2日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞

